THE KEIJO NIPPO
大正八年八月一日（金曜日）　第四千二百五十二號（一）
京城日報
（年中無休刊）
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

七月三十一日夕刊（朝刊併せて八頁）

露封鎖解除要求
五國會議に對し米委員より

巴里五國會議に於て米委員は正式に露國が敵國に非ざるを指摘し封鎖の解除を要求したり右に對し五國會議は封鎖解除が過激派に糧食を供給することゝなり反過激派及び一般露國民の不利を來すべき虞れある所以に就きウィルソン氏の注意を喚起するに決したり（巴里電報）

英國皇太子渡米

英國皇太子は近く國賓として渡米し華盛頓に數日間滯在の後紐育を訪問さるべし（倫敦電報）

炭坑夫罷業形勢重大

勞働問題は形勢再び重大となれり首相は二十四日炭坑夫首領と協議し總同盟罷業の鎭靜に努力したるが罷業せる坑夫は約三十萬人なり（倫敦電報）

英國財界の前途

七月二十二日英國前首相は財界の前途を憂慮し對策として經費節減と生産增加の外途なきを述べ輸入制限と特惠政策の不可なる所以を說きたり（倫敦電報）

獨外相と新同盟

獨逸外相ミユーレル博士は國民議會に於て『極東に於て近く或る同盟生れんとす』と述べたり（倫敦電報）

妥協成立乎

避難邦人の收容準備

孟恩遠氏來長後の吉林は案外動搖せざる事なるが同地在住邦人の長春に引揚ぐる者多く長春にては萬一の際を慮かり小學校の教場其他を取片付け電燈を增設して避難邦人收容の準備を整へ居れり

裴中將放免

裴其勳中將は廿八日夜突然放免されて歸長せしが右は此際吉林軍の態度軟化の一象徵なりと傳へらる

兩軍に警告

林關東廳長官より廿八日夜奉吉兩軍に對し『其戰鬪行動を中止せず東三省の秩序を紊亂するに於ては相當の手段を以て其安寧を計る可し』との警告を與へたるより兩軍妥協の步を進めたりとの說あり尚孟恩遠氏來長と共に諸種の協議を爲し居たる齋藤大佐は廿九日午後四時再び吉林に赴きたり

重大會議開催

先般來懷德或は伊通方面の戰線に向へりと傳へられたる高士儐氏は南嶺に在りたるものゝ如けれど廿九日朝齋藤大佐と共に長春に來り農安より來れりと稱し城內に入れり夫より孟氏は鮑將軍派遣の黃參謀及び吉林に幽閉監視中なりし裴其勳鎭守使（二十八日午後孟督軍と共に來長）と之れに高士儐氏を加へて重大會議を開き黃參謀は其決議を齎し直に歸哈せり因に前電二十八日夜開議とせしは二十九日の誤りに付訂正す

高孟裴三氏の動靜

高、孟、裴の三氏は今尚ほ滯長鮑將軍の來長を待ち居れり此の高、孟二氏の護衛兵は百五十名なれば從つて鮑督軍入城の際も護衛兵餘り多からざる可く多分約一大隊なる可きかと豫想されつゝあり

吉林軍の新募兵數

吉林軍の募集せる馬賊軍は今確知する能はざるも長春附近にて約千五百名又在吉林の新募兵は二聯隊なりと稱するも元來誇を大にするは支那常套の事なれば恐らく一千名內外ならんかと觀測さる

高身邊危險

兎に角高士儐氏の身邊は十九日の突發事件に坐し革職以來極めて危險なるものゝ如く部下中奉天軍に內應する者少からぬ模樣なり

孟停戰命令

孟恩遠氏は道尹公署にて又高士儐氏は南關に入り共に哈爾賓より來る可き鮑督軍を待ち居れるが孟氏は出動吉林軍隊全部に對し戰鬪解除命令を發し愈々妥協成立せることゝ事實なるが如し尚ほ鮑氏來長には手兵を引き連れざる事とする鮑氏承諾せざる可しとの說あるも孟氏既に來長し九名の吉林代表者又赴哈せる事とて大部隊の手兵引率せずとも來長せざる事萬無かる可し

東淸鐵道復舊期不明

東淸鐵道列車は廿九日長春より發車せしまゝ三十日に至る迄尚ほ一回の發車無しされば何時完全に復舊するや目下の處確實に知り難し

吉林軍馬賊團の揚言

孟恩遠氏の招致により長春附近に嘯聚せる馬賊團は兩軍の妥協成立し解散となるとも警備充實せる附屬地を犯さざるは勿論吉林省內を騷さず略奪の要あれば歸途奉天省に入り其の部落を荒す可しと揚言し居れりと

馬賊團橫行

奉天吉林兩省確執を機として吉林管內に在る馬賊蜂起し磐石、禾甸の兩縣に約二千の馬賊入り込み白晝城內を公然普通人と憚るなく橫行濶步し又蒙古縣のナルホン一帶にも多數の馬賊團形勢を覗ひ奉吉兩軍の勝敗岐るゝ所如何により掠奪行爲自由自在ならんと豪語しつゝあるより吉林側にては懷柔に力め居れりと

チエツク部隊哈市到著

廿九日夜哈爾賓にチエツク軍の部隊西方より到著せしが右は浦鹽經由歸國するものなりと（長春特電）

邦人保護發令

張作霖は日本人保護に關する訓令を發せり（奉天電報）

愈和議決定
孟氏電話にて張氏と談話交換

久しく縺れて解けざりし吉奉間の紛擾も二十八日夜長春道尹公署內に孟前吉林督軍と新吉林督軍たる鮑貴卿氏の特派せし黃參謀との會見にて愈々無事平和に解決すべく決定せり從つて戰線に立てる兩戰鬪部隊に對しては相互に停戰の命を下し既に兩軍陣地も休戰の狀態を保持するに至れり此會合の際孟氏は自ら電話口に立ち奉天の張巡閱使と相互に談話を交換したる結果張氏曰く鮑新督軍に對し事務引繼を速かに決行すべく且つ鮑督軍入城は一日も緩うすべからずと力說し且つ其他奉吉間の紛擾解決の方法條件等は全部鮑孟兩氏の交涉に一任し其の決議に對しては更に異言を挾まざる旨明言せるを以て是にて奉吉兩者和平解決の根底を造るに至り黃參謀は二十九日直ちに入哈中の鮑督軍の許に歸還復命すべく協調せり

高士儐の地位

孟氏は近く吉林代表者を選び鮑督軍出迎へ旁々哈爾賓に向はしむべく齋藤顧問大佐も亦之れと同道にて哈爾賓に向ふべく三十日午後十時著列車にて吉林より來長する筈鮑督軍は二三日中に來長孟氏と會見交涉を開始し其の解決を俟ちて始めて吉林督軍の印綬を佩び吉林へ入城する筈なるべく此の會見交涉に依り今まで强硬の態度を持し寬城子事件の爲め革職されたる高士儐氏の位置も確定すべく或は方面を轉じて拔擢任用さるゝに至るやも測られず目下の所高氏の地位は疑問とされつゝあり和平解決と共に最も注意すべきは今回の件に就き招募せし馬賊軍の處置なり解散に際し或は例の掠奪强盜などの變事に出づるやも測り難ければ吉林方面にては一般に之に對し危險を感じつゝあるものゝ如し（長春特電）

寬城子事件
北京政府希望

北京政府は寬城子事件を成る可く地方問題として交涉の希望あり殊更に外交部を經由せずして支那側陸軍當局と日本との間に之を解決し中央に移らざる樣協議せり（北京電報）

諸般報告陸軍省到達

寬城子事件に關し一兩日前立花關東軍司令官より諸般の報告を取纒め詳細の報道全部陸軍省に到達せるを以て同省にては直ちに之を外務省に回附せり（東京特電）

龔內閣成立近し

二十九日國務會議にて協議の結果龔心湛氏を正式總理たらしむるに決せり龔內閣の成立を見るべしと（北京電報）

米支公使館昇格

米國は相互に公使館を昇格し大使館と爲すべき旨支那に申出で支那は陸外交總長歸國の上其準備を爲すべしと傳へらる（上海電報）

東淸線破壞さる

三十日夜ロウセウコ、ヤウメン兩驛中間の鐵道線路何者にか破壞せられたり（長春至急電報）

山東居留民大會

山東省現下の形勢は排日排他の影響甚大なるに一方青島專管居留地の區域極限せられ山東沿線の如きは全然顧みられざる有樣なるを以て所謂忍び能はざる所となりたりと做し二十八日濟南に於て山東沿線居留民大會を開催し各地より代表者出席其の數七十餘名に達し痛烈なる宣言及び決議文を可決し實行委員を設け爾來一機に運動を開始する事となりたり尚日支間青島問題の交涉開始近なる可しと信じ山東方面在留邦人は意氣緊張し來り青島市民會は數日前協議會を開き更に特別委員を擧げ具體的意見を發表す可しと（青島電報）

鐵道省官制內容
鐵道事務大臣は川原茂輔氏か

政府は現在の鐵道院を廢止し新に鐵道省を設置するに決したるが現に之に關する官制は樞密院に回附され居れるが該官制內容に就き探知する所に據れば該官制は頗る簡單にして全部廿六箇條より成り大體に於て其要領を規定したるものなり今其主なるものを擧ぐれば（イ）鐵道省に鐵道事務大臣次官、局長を置く（ロ）鐵道省は特別會計とす（ハ）寺內內閣當時內閣拓殖局に移したる滿鐵の監督權を鐵道省に引戾す事（ニ）朝鮮、臺灣、樺太に於ける鐵道部、經理部及び監督權を夫々鐵道省に移管す可し（ホ）現在鐵道院總裁秘書と稱するは鐵道事務大臣秘書と改稱す尚當初鐵道省の事務大臣は新官制施行後適當なる機に於て就任する事となる可く傳へられたる爲め種々下馬評に謠はれ大岡育造氏小川平吉氏等の呼聲盛んなるも信ず可き筋よりの聞知する所によれば小川氏は司法に廻り鐵道事務大臣には川原茂輔氏の任命ある可しと（東京特電）

紐育株況
伸惱み

七月十九日株式市場は今週中强氣配なりしが外國爲替暴落のため伸び惱みたりモーター株石油株及び鐵道設備擔保附社債最も好況なり米鋼株は勞働不安の風說あるに拘らず堅實なり金融市場は緩漫なり外國爲替低調を呈し英米爲替は棉花及び穀物の手形出廻り落しきたり廿一仙に暴落せり商工手形稍引返すべしルリンドイッチエバンク巨額のクレデット發行の目的にて紐育銀行との間に交涉を開始せられたり（紐育電報）

外國米賣捌開始

政府にては米端境期愈々切迫し來れるを以て過般來の買附にかゝる外國米賣捌開始を決したる由なるが其第一回賣捌開始は八月三日にて右賣捌は公入札の方法に據る可く賣捌所は東京其他の一二の都市にて第一回賣捌數量は不明なるも元に角政府の持米は一部賣師の宣傳するが如き少量のものにあらずして案外相當の數量を貯藏し居れるやに聞き賣捌は新穀の市場出廻り時期迄今後引續き擧行せらる可し（東京電報）

緒方博士薨去

東京帝國大學醫科大學教授從三位勳二等醫學博士緒方正規氏（熊本縣士族）は本年四月頃より直腸癌に罹り漸次衰弱加はりつゝありし處去る二十五日肺炎を併發し百方療養に努めつゝありしも終に三十日午後三時十分薨去せり享年六十有七（東京特電）

深川正米奔騰

米穀の無賃輸送も買米を出渋らしめ産地强腰にて京阪大市場品がすれ氣味なるより二十九日深川正米は一圓六十錢の暴騰を演じ四十九圓七十錢の値を出したるが三十一日も引續き堅硬なり（東京電報）

東京の金融

週末の東京交換所銀行の帳尻は預金總計十六億一千八百六十六萬圓にして之れを前週末に比し九百七十六萬圓を減少し又貸出は十四億二千五百八十萬圓にして三百九十三萬圓を增加し金銀有高は八千九百六十五萬圓なり一千七百四十萬圓を減ぜり右は月末資金の需要と公債の第一回拂込み關係より來たれるならん（東京電報）

北滿送貨停止

東淸鐵道に於ける同盟罷業は終熄の見込み立たず又寬城子に於ける北行聯絡貨物多數停滯につき當分の內貨物の輸送引受けを中止する旨滿鐵に通知あり依つて滿鐵にても何分の通知ある迄日滿連絡貨物の發送を停止する事となりたり

旱魃高
仁川期米暴騰

三十日前場の仁川期米は中限高値四十二圓七十五錢先限四十三圓十錢を唱へ暴騰したるがその材料は各地旱魃の聲高きため人氣の米作前途悲觀より買氣旺盛なると大阪期米の前場寄附き三十七圓八十錢の氣丈並びに各地正米の高報を入れたるためなるべし又目下近內地に於て實施したる米穀の無賃輸送は鐵道沿線の廻穀を動かしたる外産地在米に强腰を附せしめ殊に朝鮮旱魃の聲は內地米界を强からしめつゝあり目先降雨なくんば更に高からんとの觀測多く尚ほ八月一日受渡すべき七月限は二三十錢下鞘見當なりと

旱魃と商況

降雨なきため朝鮮各地に於ける旱魃の聲は漸く高からんとしつゝあるが京城に於ける鍾路方面の商人の商狀を聞くに七月中旬旱魃の事實漸く現はれ殊に近海道に於て激甚なるを耳にするや地方の注文は激減の模樣にて綿布の荷動きは素より季節柄とは云へ昨今著しく減じたり今後尚ほ降雨なき事連續せば商狀は漸次惡化し來るべきかと稱せらる

特約運賃解放

鐵道會社にては今回炭價調節の一策として從來採り來りたる石炭の特約運賃制度を廢し之れを一定運賃制度に改むべく豫て其筋に認可申請中の所二十九日附許可ありたり即ち從來は一人特約として安州炭に對し二割引（新安州及び平壤炭）滿洲炭に對しては三割乃至四割五分引（撫順、本溪湖、煙臺炭）煙炭に對しては三割乃至四割八分引（寺洞炭）の運賃を以て輸送の取扱ひを爲したるが今回ヵ改正に依り等變更を見ざるも之を汎く一般に開放し何人と雖も之れが利用を爲し得ることとなりたるものにして八月一日より實施さるべし

法官技師異動

七月二十九日附左の通り發令あり

高等土地調査委員會事務官 平山醇
任總督府檢事（敍高等官五等）
補公州地方法院檢事
京城地方法院仁川支廳檢事 河村靜六
補大邱地方法院檢事
海州地方法院檢事 森猛太郎
補京城地方法院仁川支廳檢事
海州地方法院檢事 山田俊平
補海州地方法院檢事
總督府司法官試補 松本茂
任總督府判事（敍高等官七等）
補京城地方法院仁川支廳判事
營林廠技手 秀島秀夫
任營林廠技師（敍高等官七等）
總督府技手 結城隆次
任總督府技師（敍高等官七等）
殖產局山林課勤務を命ず

增資後の東亞
會社前途有望

東亞煙草會社新株公募の結果は三十一日午後まで東京本社より京城支店並に京城各銀行に入電なく不明なれど要するに京城の如きは三十圓以上のプレミアム一萬六千株を算し釜山元山の好況あり大阪の大口申込み多數ありたりと云へばその募入最低三十六七圓位なるべく新株の人氣は頗る好況の模樣なり而して同株が人氣を蒐め居れる理由は當一割五分と從來の基礎を材料とすれど更に來年より朝鮮に實施さるべしとの觀測專らなる朝鮮煙草專賣制の結果同社の受くべき補償金の分配を見越せるの理由も含み居れる如く支那東部は朝鮮撤退後滿洲西伯利支那本土に全力を注ぐべきが此方面に於ける擴張の餘地は無限と稱すべく更に姉妹會社たる朝鮮煙草會社の創立あり相提攜して政府援助の下に東洋の煙草界に活躍せんとする目論見につき前途は頗る有望なるものゝ如し

現株市場形勢

出願中の京城現株市場は未だ總督當局の了解を全く得るに至らず發起人總代たる鈴木氏は時々出府の上中田商工課長との間に協調を重ねつゝあるが目下の形勢にては到底八月中にはその實現不可能なるべく許可を見るにせよ九月若くば十月に入る模樣なり

仁倉拂込期

仁川倉庫株式會社は去る二十九日午後七時より仁川ホテル樓上に發起人會を開き協議したる結果愈々第一回拂込期日を來る八月十五日と決定夫々通知を發せり而して創立總會は少くとも十四日間の通達期間を要するを以て八月末日か或は九月上旬と成るべし

杉山總長北行

關東廳事務總長杉山四五郎氏は三十日午前十時南大門驛發列車にて內地へ向へり

鹽澤博士來城

鹽澤博士は三十日午後十一時釜山發三十一日午前九時五分入城したり

齋藤大佐發期

新任六十聯隊長齋藤義夫氏は八月二日朝家族同伴の上南大門發任地營橋に向け出發すべしと

●西伯利管區派遣員通過　鐵道院西伯利管區派遣員第三班一行五十餘名は大野班長引率三十日午前九時五十分南大門驛發にて北行せり

人事消息

▲服部少將（前關東憲兵隊長）三十一日午後七時五十分入城の筈なるが同少將今次の入城は當地に於て後任憲兵隊長前田大佐との間に事務引繼の爲めにして右終了次第前任地に引返し當分滿洲各地巡歷の筈なりと
▲島滿鐵理事　卅一日朝著釜山四門旅館に投宿せるが身體の加減にて二三日當地に滯在靜養の上北行する可しと（釜山特電）
▲穗積眞六郎氏（總督府事務官）廿九日附豫定十日を以て平北滿洲、新義州安東縣へ出張を命ぜらる
▲須藤信治氏（濟生院主事）廿九日附往復二週間の豫定を以て東京市へ出張を命ぜらる
▲岡倉由三郎氏（東京高等師範學校教授）三十日夜入城京城ホテルに投宿
▲沼波瓊音氏（文學士）忠南方面より三十一日朝入城不知火旅館に投宿せるが一日朝水原に赴き開城平壤方面へ直行の上滿洲に入り約二週間巡遊の後再び入城の由
▲張弘植氏（漢城銀行支配人）今回同行釜山支店長より本店支配人に復歸したる同氏は來る四五日頃來城著任の筈
▲高橋章之助氏（辯護士）全北井邑出張中の處三十日夜歸城
▲木村學之助氏（專賣局技師）三十日夜入城旭館へ
▲中井猛之進氏　理學博士三十日夜退城南下
▲松波仁一郎氏（法學博士）三十一日朝退城北行
▲富岡獸醫　軍司令部附富岡一等獸醫は二十五日附を以て三等獸醫正に陞進同時に待命仰付けられたり

八面鋒

◆米國上院に於る羅遜君の演說振は一步一步健實に意氣凛然
◆山東問題の公示は羅遜君の最も深刻なる者なり共和黨必死
◆維若は彼等の紛々たる議論に對し見事に一擊を與へて曰く
◆國際聯盟は留保する事無く現在の儘批准せられ度然らざれば
◆米國民の眞意は列國の誤解を招かんと更に曰く山東問題は
◆日本最後の行動に依て其眞明白なる可きを信ずと言や善哉
◆直截なるも含蓄あり簡短なるも明快也毅然として拔群なり
◆其功空しからざる僞か共和黨の敵本運動も既に峠を越如し
◆米國政客の本領は淡泊にて率直言はんと欲する處を言ふ
◆成效に執着する事なきは採る可き處而も蟷螂に非ず
◆千日に於ける帝國海軍の整備は云々する者有時代離れも甚
◆帝國海軍の八三艦隊建成は策定を聲明せる處唯實行に在
◆而も其完成に要する巡洋戰艦二隻の建造すら未だ不定如何
◆或は艦艇能力不足を云ひ或は財政上の事情を云ふ兩者共に
◆相當の理由は存ぜんも來年度には是非艦隊計畫を切望す
◆而艦は陸軍の徵備役と同じく艦齡に限有り八六完成の頃に
◆老艦は第一戰線には立ち難き者を生ぜん製艦は最も喫緊事
◆日露戰前の海軍力は世界の第四位たりしも最强艦は六共
◆艦隊を有したるは或は質艦より第一第二海軍國の壁を摩す
◆斯くて彼の如き光榮ある結末を告げたるは世人の知る處而
◆切に望む當局は其の當時を回想して更に奮勵するあらんを
◆民又何時にても當局の求むる所に答ぜん覺悟あるを忘れ

商況

本日紙面の都合上第四面に掲載せり

毎月五圓の掛金にて金側時計が買へる
大日本メイル會社の新計畫
而も金鎖以下多數の景品付

近來世の好景氣と共に生活の程度も向上して最早銀側時計では人に輕蔑せられる時代となつた、けれども未だ銀側でも相當價で買入る人もあるから此際銀側は、さういふ人々へ讓り渡して、自分は最新形の金側で胸を飾り、世間の人々から尊敬を受け信用を增すが最も賢いやり方である、けれども金側時計は價が安くない強いて安いものを買へば機械が惡かつたり側が薄かつたりして永持がせぬ、そこで大日本メイル株式會社では最新形の機械の完全な金側時計を選び之を毎月五圓掛十一箇月の賦販賣を開始した、然も此販賣は僅一回の掛金で金側時計の前渡しを受け、殘金は十箇年に割つて拂つてもよいと云ふ丸で金側時計をタッタ五圓で買つたも同樣な面白い仕組みもあれば又、全部掛金をしてから現品を受取る人々には抽籤にて金鎖や金メタル時計用磁石などを進呈すると云ふ頗る有利益な規則もあるが、それにしても大日本メイル會社とは如何なる會社であるか、其金側時計は粗惡ものではないか、其の抽籤方法は怪しくはないか、或は之を心配する人もあるかも知れないが、これを一行十錢と云ふ高い廣告料を支拂つて一々玆に說明する事は出來ないから加入するとせないは別として至急東京神田三崎町三丁目十一番地大日本メイル株式會社へ宛てハガキにて申込次第詳細の說明書を早速御送り致しますから、其れを御熟覽なさいまして如何に當會社の計畫が面白い計畫であるかを御承認の上一刻も早く第一回の掛金を濟まし初回の抽籤にて人々に羨まるゝ幸運を引當てあらん事を希望いたします

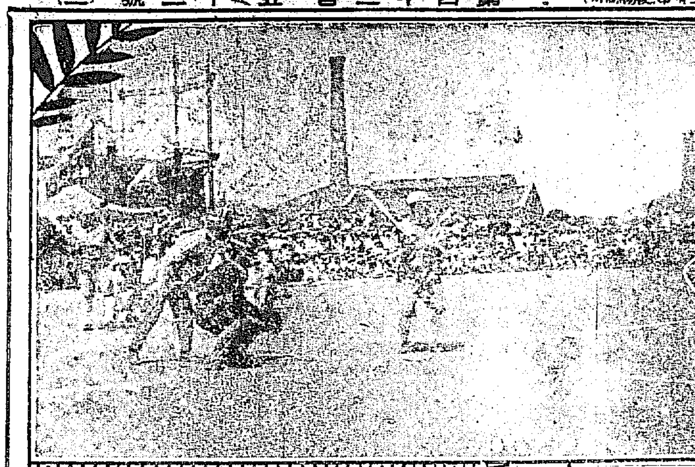
▼鮮滿を風靡する
パイン萬年筆の權威

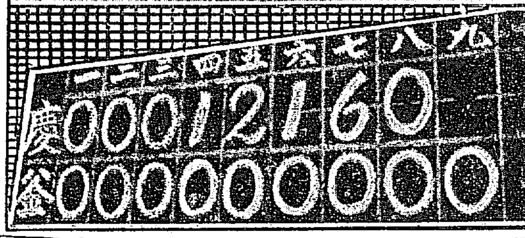
緑出 八圓八十錢
緑出 六圓八十錢
短軸 四圓九十錢
實務用 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
事務用 一圓九十五錢
新製品吸入式 五圓八十錢
▼萬年筆の名はパインに依りて愈高し▲
發賣元 京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

農家の副業
利益甚大藥用サフラン委託栽培者募集希望者は郵券五錢送られたし規定書速送す種球特價販賣す至急照會を乞ふ
秋期種苗代價表申込次第無代進呈
東京府中野町芳香園株式會社

醇美清酒
長春
發賣元 大塚合名會社京城支店
京城明治町二丁目 電話四〇一 振替京城五七〇
◉到る處酒店雜貨店に販賣せり
◉滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連

OROLOGAS & CO.
直輸入品
▲中元の贈答品は
金口煙草、葉卷煙草、ブドー酒、ウイスキー
（其外西洋雜貨何んでも）
に限る
卸小賣 オロロガス商會
釜山大倉町郵便局前 電話一九四七番





大野球戰畫報
釜山に於ける

(右より)松井稅關長の始球振、慶軍選手、主將竹中二壘、試合の光景(下)戰の跡

球界の覇者を迎へて
釜山港頭の大野球戰
慶應對全釜山
烈日の下熱球飛ぶ
見よ凛々しき戰士の意氣

本社主催慶應義塾大學野球部全釜山兩軍の野球戰は豫定の如く三十日午後二時より釜山大正公園グラウンドに於て擧行されたり。當日は朝來絕好の野球日和なれば釜山全市民の野球熱を煽が上に煽り早朝より同公園に詰め掛くる人少からず、グラウンドには龜井本社釜山支局長を始め本社出張員等釜山野球關係者の援助の下に早曉より場內設備の任に當り午前十一時には砥の如く掃き淨められたるグラウンドに眞夏の太陽を浴びて白き線の光れるを見る。斯て萬端の設備成る頃には早數千の觀衆球を成して戰士の入場を待つ。

戰機熟す兩軍入場
觀衆數萬釜山空前の人出
松井稅關長の始球
場內歡呼喝采に動搖めく

正午を過ぐること暫時にして當陣ユニホーム姿の全釜山軍は觀衆の喝采を浴びて入場し、直ちにフリーバッティング及びシートノックを以て攻守兩面共に鮮かなる技術を見せて觀衆を喜ばす。釜軍は不幸正投手谷口腹痛の爲に欠け、捕手吉原(弟)亦負傷して出場せざりし林を以て捕手に當らしめ其陣容に於て何等の破綻を見ず、最に京城各チームを難倒したる餘勢を驅りて球界の覇者慶軍を迎へ擊たんとす。午後正一時に至れば觀衆益々其數を加へ、釜軍應援團及會員等亦所定の場所に陣取れて慶軍の入場を待つこと切なり。軈て慶軍戰士は田中敎授腰本監督、明石、黑澤の諸氏と共に二臺の自動車を驅つて入場し、紺のユニホーム姿凛々しく觀衆

歡呼の裡に

練習を開始して其の誇りとせる守備の堅實味を見せて觀衆を唸らす。戰機熟して定刻二時に至れば兩軍戰士勢揃ひの上本社早田幹事より試合開始に對する一塲の挨拶あり、次いで始球式に移り松井釜山稅關長プレートに立つて

第一球を

投ずれば場內は歡呼喝采に動搖めき、斯くて壯快なる慶釜大野球戰は紺青に輝く海面より吹き送る海風爽やかなるグラウンドに於て開始されんとす。

緊張せる試合振
水も漏らさぬ慶軍の守備
釜山軍終に慘敗す
十プラスアルファー對零

試合は明石氏正審、貫志氏の壘審にて釜軍先攻慶軍守備に始まりたるも釜軍小野投手の怪腕に弄殺されて第一回目は壘を盜む能はず慶軍代つて攻むれども釜軍の守備

亦意外に

堅實にして無得點に終り仕合は愈々緊張し四回の表に至りて釜軍能く攻めて滿壘となり釜軍應援團狂喜熱呼せしが慶軍守備を堅めて水も漏らさぬ策戰に釜軍遂に本壘を踏む能はず得點無爲に終りしは釜軍の

痛恨察す

るに餘りあり。之に反し慶軍は一點を得、五回には釜軍無爲、慶軍二、六回は釜軍無爲慶軍一、第七回は釜軍無爲、慶軍一擧六點を加へ益々猛襲の勢ひを示し釜軍の戰士奮起すれども効なし。八回慶軍投手を新田に代ふ。新田の猛球亦釜軍の

打者を封

じて爲すなからしめ釜軍守備に努めて慶軍が得點なし。最後の九回戰に於て釜軍掉尾の勇を鼓して力戰善鬪したれども遂に及ばず十プラスアルファ對零のスコアを以て慶軍の勝利に歸せり。時に午後五時半釜山に於ける空前の

盛觀を極

めし慶釜大野球は終始觀衆の熱狂裡に戰ひの幕を閉ぢたり。

茶話會
兩軍戰士を招待して

それから兩軍共直ちに同公園の茶屋に於て本社よりの茶菓ビールの接待を受け兩軍戰士互ひに歡談笑語し六時を過ぐる頃各自の宿に引揚げたが當日の催しに關し各方面への斡旋及び場內設備に關し釜山日報、朝鮮時報、釜山新聞社から多大の援助を與へられた事及び吉田、西村、小林、山下、佐々木、內野諸氏が萬事を斡旋して其催しを盛んにし殊に南部稅關長が救護班迄も設けて助力されたことは本社の深く感謝するところである。

試合經過

釜軍先攻明石氏正審貫志氏副審プレーの一聲が高く響けば松井稅關長の始球手際よく投げられ茲に愈々試合の幕は切つて落された

第一回 兩軍無爲釜軍吉原、全野を睥睨してボックスに立つた榮ある第一打者は躍もなく小野の怪腕に屠られ次いで宮脇、大谷三振し終る慶軍代つて攻め高須四球を利して出で高濱の投手ゴロで高須を二壘盜まんとして刺殺され竹中二壘ゴロで死し高濱二壘を得たが永岡二壘ゴロを打つて死し高濱殘壘の儘終る。

第二回 兩軍無爲、釜軍木原徒らに三振し福阪始めて右翼ゴロで一壘を踏んだで捕手一回も勇躍すれば釜軍應援團も氣勢を揚げ拍手盛に起る渡邊今西後勢は全く打擊を封ぜられの無爲三振し福阪は二壘をすら窺ひ得ず一壘に殘つて終り慶軍新田四球で進み鈴木遊擊フライを打つて死し新田二壘を盜まんとして刺されたが小野三壘ゴロ濱野二壘直球で進んだ愈々慶軍勇飛の機會が來たやうであつたが桐原三壘へゴロを打つて終つた

第三回 兩軍無爲、釜軍田宮三振し林三壘ゴロを打つたが死し吉原痛快な中堅越の二壘打で初めて吉原が二壘を踏んだ時釜軍の歡喜は素晴らしいものであつたが殘念ながら二壘で手もなく刺殺されてしまつた慶軍高須遊擊ゴロで出て二壘に刺され高濱凡打凡死竹中四球で進み岡三壘ゴロで出たが竹中一二壘間で刺殺され終つた

第四回 釜軍零慶軍一、釜軍宮脇二壘ゴロで突き大谷、木原も二壘ゴロで進み無死者で滿壘となつた愈々釜軍に千載一遇の機會が來た釜軍は色でき出した木原の打たゴロを二壘手が逸しかけたと見るや宮脇は早くも三壘をスタート切つたが本壘を突く瞬間には最早球は捕手の掌中にあつたのでアウト福阪責任打者としてボックスに立つたが此機會を利用するの技術が無いらしかつた見て取つた大谷は三壘から無謀な生還を期したので本壘前に死し福阪三振して無爲に終つた慶軍新田四球鈴木二壘ゴロで進んだが二壘手の失と投手の暴球で新田三壘を鈴木二壘を得た、小野飛球に死し濱野遊ゴロで新田先づ生還し濱野敵陣の亂れたに乘じ二壘をストールせんとして刺され桐原三振し慶軍は僅かに一點を得たるのみ

第五回 釜軍零、慶軍二、釜軍渡邊三振し今西、田宮凡打凡死す慶軍高須高濱共にゴロで進み竹中三振したが永岡の中堅大飛球に遊擊は辛くも球を收めたが右翼手に當られて轉々たる爲め球を二壘打となつて高須生還し高濱すかさず三壘を盜んで捕手の逸球で高濱生還し新田鈴木凡打凡死したので二點を得たるのみ

第六回 釜軍零慶軍一、釜林遊擊に飛球死し吉原、宮脇三振して終る慶軍は小野三壘に濱野遊擊に打つて出桐原のバントで小野は三壘濱野二壘に迫つた高須の遊擊への犧牲打で小野生還し高濱四球で出たが竹中凡打して死し終る

第七回 釜軍零慶軍六、釜軍大谷木原凡打して死し福阪三振す釜軍は既に畏縮した樣な觀があつた慶軍永岡左翼へ安打してバウンドして海へ落ち三壘打となつた新田三壘ゴロを打たが三壘のランナーを氣使つて樂々一壘を與へた鈴木の中堅越の安打に永岡生還し小野遊擊を突いて出たので滿壘となり慶軍氣勢頗る揚つた濱野遊擊に打つて死んだが桐原の遊擊ゴロに釜軍陣容潰亂し新田鈴木先づ生還し高須一壘越の三壘打で小野桐原生還し高濱遊擊ゴロを突いて高須生還した慶軍の鋭鋒は俄然釜軍を粉碎した竹中四球に出で永岡三振し新田四球に出た又滿壘となつたが鈴木中堅大飛球は美事中堅に得られて滿壘の儘に終る

第八回 兩軍無爲、釜軍渡邊三振し今西遊擊を突いて出たが田宮凡打して死し今西も刺殺されて終る慶軍は小野中堅に凡打して死し濱野三振し桐原二壘ゴロ高須四球で出たが高濱無爲にして終つた

第九回 釜軍無爲、慶軍鈴木捕手前間に突指をしたので濱野が捕手に山岡が左翼に陣容を更へた釜軍林、吉原、宮脇凡打して凡死し遂に釜山軍は十プラスA對零と云ふスコンクのインニングで敗れ午後五時五十分試合を終つた

		打數	得點	安打	二壘打	三壘打	本壘打	犧牲打	盜壘	刺殺	補殺	失策	三振	四球
6	吉原	4			1					2	2	2	2	0
4	宮脇	4								3	5	1	2	0
2	大谷	3							1	4	3	1	1	0
3	木原	3								11	1	0	1	0
8	福阪	3								3	0	1	2	0
7	渡邊	3								0	0	0	3	0
5	今西	3								1	0	3	1	0
9	田宮	3								0	0	0	1	0
1	林	3								1	4	0	0	0
		29	0	0	1	0	0	0	1	25	16	8	13	0

		打數	得點	安打	二壘打	三壘打	本壘打	犧牲打	盜壘	刺殺	補殺	失策	三振	四球
5	高須	4	2	2		1				1	4	0	0	2
8	高濱(山岡)	5	1	0					2	0	0	0	0	1
4	竹中	3	0	0					2	4	2	3	1	2
3	永岡	5	1	1		1				5	0	0	0	0
9	新田	2	2	0					2	0	0	0	1	3
2	鈴木(濱野)	5	1	1					1	15	0	0	0	0
1	小野	5	2	0						1	1	0	0	0
7	濱野(高濱)	5	0	2						0	0	0	1	0
6	桐原	4	1	2				1		1	2	2	0	0
		38	10	8	0	2	0	1	7	27	9	5	3	8

ネットの蔭より

一つの大出來
野次と場內整理

卅日は明治天皇祭の當日であつたから釜山大正公園の雜踏も非常なものであつた這は野球趣味が釜山全市に磅礴たる證據として運動界の爲め實に嬉しく思はれた、應援團も綺麗であつた特に西村坂田二氏が野次を監督して遠來の慶軍を迎へたに就いて毫末の非難もなかつたのは大出來の豫想の整理は釜日、時報二社及び野球關係者、警察官の盡力で却々好く行き屆いた美しき空前の出來ぶと云ふべきであらう

ボールは二つ迄
兩投手の腕のびわれ

釜山軍の健鬪は申し分なかつた第四回目迄は鼎の輕重をさへ問はれさうにも見へたほど緊張してゐた大谷捕手吉原遊擊渡邊中堅の出來榮は見事であつた▲釜軍の眞劍な然も鬪爭的な戰法には敬服した殊に守備の點に於て釜山野球界に一道の光明を與へたことは事實であらう▲小野新田兩投手の腕のびわれは見事であつたボールは二つ迄限度として三つボールを出した事がなかつた▲審判明石君は東都リーグ戰でも有名であるが三十日の仕合の如きは釜山軍に多大の好意を持つてゐた位で其審判振りは見上げたものであつた京釜の審判者の好範である

美事な始球
慶大選手が感心

松井稅關長の始球は立派に捕手のミットに入つた始球式で斯迄立派な投方はあるまいとは慶軍一選手の談强將の下に弱卒なしで釜山稅關に好選手を集めてゐる所以が點頭かれる

木原主將曰
我々では當らぬ

敗た釜山軍の木原君曰く『慶軍から色々と學びました投手捕手のザインも怪絕的です兩投手の緩球直球共に我々のバットでは到底當りません守備の用心深くて確實な點にも感心しました之で我釜山野球界も革新されるでせう』▲慶軍の一撰手曰く『釜軍林投手の緩球には氣を腐らされてしまひます仲々元氣ですが未だ科學的の研究が不足のやうに思へます』

慶軍入城す
多數の出迎を受けて
元氣旺盛天を衝く

慶軍選手一行は三十日夜十一時釜山驛發列車に乘込みたるが同驛プラットフォームには三田會員を始め多數の見送りを受けて、校歌を高唱し意氣頗る盛んに京城に向ひたるが今朝龍山驛に下車し野球關係者多數の出迎へを受け宿所なる滿鐵社友俱樂部に入れり

列車目懸けて彈丸の雨
哈爾賓驛に於ける出來事
邦人一名大腿部を貫がる
何者の所爲とも判明せず

二十九日午前七時半當地を發せる東淸列車が同日午後十一時頃哈爾賓に達する際同驛より少しく手前なるインデタント(待避線)に停まり暫時の後發車してセマホールを出でたる頃より兩側の暗中より列車に向け連續的に盛んなる射擊始まり銃彈車壁を貫通して車內に飛來し危險甚だしく乘客の混雜一方ならず射擊は列車が哈爾賓貨物驛附近に到るまで連續し負傷者約七名を出だし日本人一名大腿部に貫通銃創を受けたり其際注意すべきは列車徐行してインデタントを發し射擊始まりたる後も終始徐行を續けて哈爾賓に達したることなるが其の暴行者は東淸鐵道從業者鬪なりと云ひ又黑龍兵なりと傳へらる、も未だその原因及び暴行者の何者なりしか判明せず然し何れにしても東淸線從業員の同盟罷業復舊したるに非ざるは明かなりと(長春特電)

西伯利へ
山口聯隊
出發は來月十日頃

山口步兵第四十二聯隊は此度西伯利に派遣せらるべき內命あり將卒何れも出動準備に忙はし、出發期は來月十日頃ならんと云ふ(下關電話)

富士山に大降雪
八合目以上は白皚々

富士山六合目には二十九日大降雪あり八合目以上は白色皚々たり(東京特電)

大賊捕はる
龍山分隊の手柄
正直相な男

本月十二日夜龍山三坂通百二番地三品營吉方にて丸帶銘仙模樣著物羽織等取交ぜ女物衣類二十三點價格約八百圓の品物を賊の爲に竊取されたる事は既報の如くなるが今回龍山憲兵分隊に於て苦心探偵の結果確證を擧げ該竊盜犯人とし逮捕したるは原籍福岡縣鞍手郡木屋瀨町字中町當時住所不定西田寅殺(三一)といふ者にて此奴は小造りの一見實直さうな男なるが却々の曲者にて二十九日朝引致取調べに著手せしに前記の事實を自白せしのみならず他にも隨分餘罪多からむ見込にて目下嚴重に訊問中なり

游泳中溺死
仁川仲町

三丁目田邊表具店の長男喜一郞(一三)は去る三十日午後月尾島海水浴場に赴き柵外にて游泳中突然溺死し行方不明となれるが翌三十一日午前七時三十分頃萬石洞猫島附近に漂著せるを發見檢視の後家族に引渡されたり同人は至極水泳には熟達し居りたるものなりと云へば或は游泳中痙攣を起したるものならむやと云へり(仁川)

第四回婦人見學團

左の方法に依て第四回婦人見學團を擧行致ます依つて御參加を乞ふ詳細は別項を御覽下さい

時日 八月三日(第一日曜日)午前九時迄に往十里電車終點に參集

場所 纛島水源地=同所見學の上漢江を下り舊龍山に歸著隨時解散

會員 約三百名辨當は各自御携帶の事會費は一文も要りませぬ著物は成るべく浴衣が好いのです

申込 普通葉書に參加人數御認めの上本社編輯局見學團又は永樂町水道分室宛御申込下さい

主催　京城日報社

長野行き列車埋沒す
信州姥捨驛附近の椿事
重傷十三名輕傷卅二名

二十九日夜九時四十分信州姥捨驛を通過し同十一時二十分芝山隧道に入らんとする際附近隧道入口にて山崩れの爲め列車顚覆埋沒し重傷十三名、輕傷者卅二名を出せり(東京特電)

同上別報 二十九日午後八時十五分信州松本發長野行列時俄然機關車及び客車四輛顚覆し重輕傷者十五名を出せり(下關特電)

急行列車粉碎す
垂井驛で機關車と衝突
即死一名負傷十三名
神戶の船成金內田信也氏も重傷を

二十九日午後六時二十分神戶發東京行一二等急行列車が同十時過ぎ岐阜縣垂井驛に差懸るや同驛に停車し居たる補助機關車に衝突し兩機關車は大音響と共に田圃中に顚落して郵便貨物車及び三輛の客車滅茶々々に破壞し死者一名負傷者十三名を出だせり則死者は三浦柳三郞氏にて內田信也氏も重傷を負ひ同氏母堂はつの、英國人ゼリー氏等も重傷なり何れも大垣市吉田病院に收容手當中なりと(東京特電)

明日の大試合
慶大軍對全京城軍
午後四時より鐵道公園で

朝鮮體育協會主催慶大軍對全京城軍の野球戰は一日午後四時より龍山鐵道公園グラウンドに於て擧行さる。皆なるが慶鬪、滿銀、京俱の三チームを打つて一丸としたる全京城軍が如何に統一されし步調を揃へて勁敵慶大軍に當るべきか眞に興味ある觀物と云ふべし乞ふ刮目して待たん

女賊を捕ふ
古物屋に忍入つた不良鮮童

二十七日午前三時草木も眠むる眞夜中にコトくと異樣の物音が人の動く氣配の聞ゆるにふと眼を覺ませし漢江通十三番地六十一號古物商大田尾キク(五十)は起上りて樣子を窺へば表の硝子戶の懸け金不完全なるをこぢ開け押入りたりと覺しき一人の曲者が棚の上にありたる煙草朝日の大箱三個代金四圓五十錢机上の現金三圓其他切手箱にありたる三錢切手百枚を竊取し立ち去らんとする處なるにぞ逃しはせじとムンヅとばかり後より組附き捻倒して引捕へし折柄急報により馳附けたる憲兵分隊の小島上等兵に引き渡したるが取調の結果此奴は本籍京畿道高陽郡龍江面東幣里六百七番地平民戶主金元貞長男金一龍(一八)といふ當時住所不定のチョンガなりしと

白米騰る
三十一日から
一升四十八錢

米價調節策の無償輸送も目下の處餘り効果の擧らざると政府では目下畿內を中心に各地に於て端境期貯米を買ひ集りつゝあると云ふ噂に加へて朝鮮は晴天續きの爲め既に旱魃の箇所もあり旁々外米高の影響を受けて當地小賣白米は三十一日より又復一錢を引上げたるが是にて一等白米一升四十八錢となり開闢以來の高値を現はしたる譯なり

赤痢と窒扶斯　龍山

漢江通り十五鐵道從業員妻松下マサ(四三)は本月二十四日發病二十九日腸チブスと診定直に鐵道病院に收容さる、又同所京町山下タドコークス製造所傭內山下タヨ(四二)は二十八日發病三十日午後赤痢と決定原因系統等不明なれども規定の消毒を施し京城[illegible]避病院に隔離さる

震死

廿七日午後二時頃より木浦を中心として大雷雨あり同三時頃步羅驛より北五丁九山里の鮮人下宜炫方に落雷し之が爲め宜炫の長男圭南の妻朴再大(三十一)及び宜炫の妾及び末子と木浦府[illegible]の長女寶禮(八つ)の二名は卽死し長順の長男甲洪(十九)の三人は[illegible]傷を受けたりと(木浦)

鮮人轢死

二十八日夜十二時頃京畿道陝川大田間踏切にて推定十歲位の鮮人男一名第十三列車に觸れ卽死せり

納涼列車乘客注意

海水浴及び避暑客並に季節納涼客の便を圖りきに京管局に於ては南大門仁川間五割引二三等往復割引を發[illegible]

日鮮研究會

第四回日鮮研究會は一日午後八時より旭町三丁目[illegible]講義に始り次で會員の五分間演說[illegible]り終りに澁見司慶の日蓮上人の教[illegible]に就ての講演もあれば一般有志の[illegible]會を歡迎すと

本日溫度(午後二時)

▽京城 鍾路 九十五度(本社編輯局)
▽仁川 同 九十度五分(本社支局)

各地最高溫度(卅日午後二時調)

▲馬山 八十六度
▲木浦 八十八度七分、晴れ
▲公州 九十二度
▲淸州 九十三度
▲大田 九十度、晴朗
▲大邱 九十三度三分東風、晴
▲鳥致院 八十五度、無風晴れ
▲春川 九十九度二分
▲平壤 九十度、快晴
▲安東縣 九十四度、晴れ
▲奉天 九十三度六分
▲大連 九十一度
▲群山 九十八度

灯頭

元京城地方法院判事現仁川稅關監視課長兼務課長中島慶之[illegible]は此程から[illegible]は必ず梅干し入りの握り飯を持つて居る▲と云ふのは此の物價騰貴の世智辛い時に際して尚ほ任官其他の下級者が使ひを以て辨當を取り寄せるやら或は辨當屋に贅澤な辨當を註文するやらで柄にない眞似をするので先づ課長自ら經濟調節の範を垂れるために握り飯の實行を致して居るのだそうである▲御陰で下級連も課長の手前餘儀なく握り飯黨になつたとは哀れにも亦勝と云はざるべからず

慶北の水害
六名埋沒す

[illegible]及び扶助方より孝子龍川間道路破損し一時通行を中止したるが[illegible]を以て扶助駐在所にては直ちに洞民を集め午前八時迄に前記[illegible]

暴風警報

風强かるべし[illegible]低氣壓天草大島附近にあり七二二耗を示し東北に向け進行中全羅南道慶尙南道沿岸を警戒す

[illegible]九龍浦、郡邱に船舶交通杜絕せり(大邱)

天氣　晴一時曇

▽日出五時十五分　▽日入七時五十九分

第五版

材木業大會

安東支局　鄙山生

第二十一回日本材木業聯合大會は七月三十一日より八月三日迄四日間安東縣及び新義州の兩地に於て開催せらる、今や母國の各府縣及び鮮滿の各地より來り會するもの無慮四百餘名是れ正に滿鮮國境の兩地に於ける空前の盛事にして吾人の双手を擧げて大いに歡迎の至誠を披瀝するに吝ならざる處なり

本會に來會せる高官紳士諸賢は主務省の代表者、朝鮮總督府及び關東廳の代表者、全國材木聯合會長、林業木材に關する專門家及び全國滿鮮の材木業者にして、凡て木材に關係せる人々ならずんばあらず吾人はこの機會に於て我鴨綠江材を天下に紹介し得ると同時に鮮滿國境兩地に於ける經濟的價値の如何を紹介し得る事を欣幸とする處なり

由來鴨綠江上流に於ける森林は東洋有數の大森林と稱せられ鮮滿兩地に亘る處女林の面積は實に二百四十萬町歩其の蓄積する材積又無慮十億萬尺締と概算せらる就中深奧の地方に於ては千年斧鉞の入らざる原生林を少からず年々安新兩地に伐出せらる、材木又一千五百萬圓を越えんとす是れ即ち當路高官及び全國の當業者に對して誇らんとするものなると同時に、帝國木材政策上より特に深甚の注意を乞はんとする處なり

次に來會者各位に冀ふ處は此無盡の蓄積を有する大森林を控へたる安東、新義州兩地の經濟力の膨脹及經濟的消化力なりとす、由來安新兩地の經濟的關係は、今遽に內地の主要都市と對比すべき價値あるにあらずと雖も、其の向上發展のタイムが兩三年來の事に屬するを思へば蓋し隔世の感あると同時に其の異常の進步に驚くものあるべし殊に安東縣にのみにして特種產物と稱する木材、柞蠶、大豆加工品は約五千萬圓を產し且つ安東稅關の通過貿易は既に一億圓を突破せんとしつゝあるを見ても將來の發展期して見るべきものあるべし

更に聊か吾人の意を强ふし且つ誇らんとするの處のもの一あり即ち木材加工業の一大發展にして其一二の例を擧げんか、朝鮮製紙株式會社の操業開始時期の間に迫り、鴨綠江製紙株式會社の創立成つて近く工場設立の機運熟しつゝある事是なり、猶聞くが如くんば內地財界の巨頭某々氏等によりて更に一大製紙會社の創立を見んとしつゝあるが如し、斯くの如くして進展せむなくんば我安東、新義州の木材加工業は百尺竿頭更に一步を進むるものあるべし

我鴨綠江材は質に於て內地の優良材に優る點或はなからんも其の量に於て其の用途に於て運搬の利便に於て蓋し東洋有數のものたるべきを信ず、即今歐洲大戰亂終熄を告げ平和の曙にはされたる東西比々皆然るが如しと雖も經濟界の波瀾再發して停止する處を知らず、我木材界に及ぼす幾多の危機亦伴ふべしと雖も、當業者の發奮協力は克く萬全の道程に向つて進むべし吾人この機會に於て來賓並に會員各位の健闘を希ふと同時に特に鴨綠江材の價値を認識せられ且つ鮮滿國境に於ける經濟的發展の眞相を審にせられんことを切望して止まざるなり

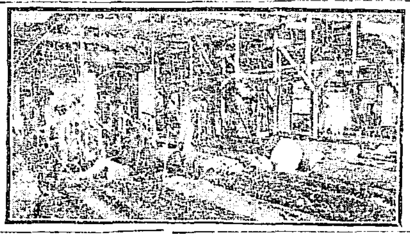
鴨江財界の權威（一）
採木公司の使命と其の事業現況

鴨綠江材界の權威たる鴨綠江採木公司は明治三十八年北京に於て締結せられた滿洲に關する日淸條約附屬協約第十條の規定に基き明治四十一年五月協定の日淸合同木材會社に關する取極め

後兆元　採木公司理事長　　永田　採木公司理事長

並に明治四十一年九月奉天に於て日淸兩國委員の協定した業務章程に依つて兩國の合同事業として成立した國際的の木材會社である、其の事業區域は鴨綠江の右岸帽兒山から以下二十四道溝に至る沿江の江幅を距る華里六十里以內の地域と定めて鴨綠江の森林を經營する外其の境界外及び其の支那側から搬出する木材は全部採木公司に買收するの特權を有して居る

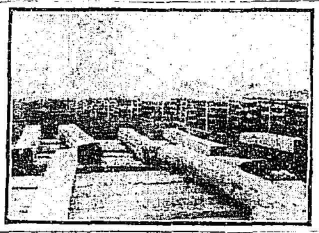
採木公司の創立されたのは明治四十一年九月であつて資本金は小洋三百萬元を兩國政府より折半出資したもので、本社は吾人の知る如く



吉林廠工場內部

南滿洲の安東縣に置かれ、其の分局は本流々域に臨江、十三道溝、帽兒山の三箇所に支流渾江流域には通化、八道溝の二箇所に都合五箇所がある、營業科目として擧ぐれば木材の採伐及び買收採木資金の貸附、漂流木の整理木材の販賣、木材の委託保管等であつて鴨綠江の支那側に屬する木材全部の總元締とも云ふべきものである

鴨綠江は　俗諺にも謡はれる通り實に朝鮮と支那との境界を劃するものであつて其の流域二百四十里と稱せられて此の流域一帶の地は一般に山嶺丘陵重疊して耕地少く殆ど森林で前人未踏、未だ嘗て斧鉞の入らざる處女林さへ尠くない、其の主要なる森林は江口即ち龍岩浦附近を遡る事約百里の地點に起り各支流の上部に位置するもので其の面積は朝鮮支那合せて約二百四十萬町步と稱せられ



安東縣の木材

蓄積は無慮十億萬尺締以上と註算されて居る

安東縣（一）

位置及地名

鮮滿國境を劃する我が鴨綠江は其の源を海拔八千尺の長白山脈に發し汁餘曲折正に二百四十里、滾々永世不斷の水を湛へて黃海に入る、而して我が安東縣は此の長江の右岸、江口を遡る事十六哩の地點、北緯四十度六分五十二秒、東經百二十四度四十秒に位置せり、實に南滿鐵道安奉線の基點にして奉天を距る鐵路百七十哩約八時間程、朝鮮の首都京城を距る三百十三哩、汽車程約十二時間、海路大連を距る百六十浬汽船にて約十六時間程に達す、是を行政地理より見る時は南滿洲盛京省安東縣の所在地にして總稱して安東縣と稱するも事實は安東縣安東市と稱するを至當とす

市街と人口

安東縣は元邊外の地と稱せられ人煙稀薄狐狸の跳梁跋扈の出沒に任せたる處、聊か浩蕩の見るべきものありしは大淸大同年間以後、光緒年間に移民の見るべきものあり我が日本人によりて知れたるは日露戰役の當時鴨綠江渡河戰に成功したる後に屬す、現在の市街は新市街即ち日本町、舊市街即ち支那街の二より成る、新市街は日本の專管居留地に似たりと雖も土地の所有權は我が陸軍省に存し現に官有土地管理官によりて左右せらるゝものと滿鐵附屬地と稱して滿鐵に屬するものとの二より成る、日本人の現在するもの約千九百戶八千人、朝鮮人三百四十戶一千六百人、支那人の戶口を詳かにせずと雖も六萬乃至七萬と見るを至當とすべし

大連近事

◎大連市需用木材は長春事件以來吉林材の南下少きと鴨江材も本年は出材數減少の傾きありて需要に伴なはざるもの、如くにて大連市場鴨江材並に吉林材の出廻り激減を來せるが之に反し北海道材の輸入は近時益々盛んとなり來り價格は現在一石八圓處を唱へ居れり

◎八年度の大連民政署管內養蠶狀況を見るに飼育者總數六十五人蠶種掃立枚數百五十六枚にて繭收穫高二百七十三貫餘金額二千四百八十九圓餘なり

◎大連市內及び近郊に於ける家屋建築許可數は一月より六月現在によれば總數四百四十六棟其の坪數一萬七千七百六十坪餘にして昨年同期間の建築許可數に比するに棟數に於いて百二十九棟、坪數に於いて三千百四十坪の增加なりと

◎大連市建築規則制定せられたる結果滿鐵に於いても其建築に對する主任技術者の署名捺印を要する事となりたるが右に就き滿鐵建築課にては未だ主任技術者なき故其設計書類に市中の主任技術の署名を乞はざるべからざる破目となり不便少からざるより技術的代表に對し主任技術者の認定を受くるべしと

◎此程奉天に於て就縛したる海賊團の頭目李那淸同副頭目曹萬軒に對する警察の取調は二十六日を以て了り二十五日旅順法院に送致さるゝ事となりたるが逃走當時の狀況並に其の徑路に就き彼等の自白せる所に依れば、小崗子海岸に殘し置きたる戎克及び部下船頭等の警官隊の爲めに襲擊されしと知るや、彼等兩人は身を苦力に變裝して十六日夜は譚家屯東南の山中に野宿し翌朝徒步臭水驛に至り同所より乘車奉天に至りしものなり、而して彼等は目下奉吉の風雲急なるを奇貨として此上乾坤一擲の策略を聞かん魂膽なりし如く

せられつゝあり

二十三日營口へ入港せし三嶽丸船員海木某（三三）は二十二日午前中復州にて發病即死せるがその儘にて營口に入港せるより同所に於いて檢疫の結果虎列拉と決定し、該船に港外停船を命じ目下隔離中なりとの事なるが、其後營口は虎疫猖獗を極め來りたれば沿線各地に於ては甚だしく不安を感じ、夫々嚴重なる豫防方法を講じ居れるが滿鐵沿線に於いても之が爲め列車中にて一々檢疫を行ふべしと

支那旅行に必要な携帶品
（洋傘は邪魔になる許り）

（イ）魔法瓶　支那一帶は飲料水不潔にして其れに伴なふ危險も多く且つ支那は空氣乾燥の爲め渴を覺ゆること甚だしければ、常に煮沸水を魔法瓶に入れて携帶するを便とする

（ロ）蚤取粉　蚊よけ香水並にアンモニア水、支那鐵道の寢臺、支那旅館其他到る所名物の南京蟲の跋扈するあれば、就床の際蚤取粉を撒布し、身體露出部に蚊よけ香水を塗布する必要がある、尙南京蟲の害を避くる爲め、綿布製袋を用意し、就床の際頸部以下を入れ頸部に於て紐で置く

（ハ）含嗽劑　其の他の持藥　支那一帶は前記の如く空氣非常に乾燥せるを以て、初めての旅行者は咽喉加答兒、鼻加答兒に罹るものが多いから注意を要する、故に適當なる含嗽劑と一般的なる下熱劑、下痢止、健胃劑を持參するがよい

（ニ）塵除眼鏡　空氣乾燥の爲め目に見えぬ細塵常に空中に瀰漫するのみならず、一旦風吹かんか天爲めに暗し、爲めに眼球を冒さるゝもの、炎症を起すもの常に見る所である

（ホ）カラー　カフス、シャツは少くとも一打以上を携帶する必要がある、尙レインコートは時としては防雨用となり、便多けれど、洋傘は携帶の必要はない（ツーリスト）

東西南北

▼▲流行になつた勳章▼▲　西伯利にて露國政府の勳章が待遇品として販賣され中にカフス釦に適する物あり五圓以上三十圓位迄なりとは哀れな話

▼▲反古になつた紙幣▼▲　勳章も左る事乍ら更に哀れを止めしは留紙幣なり目下反古同樣にて百留紙幣が七圓五十錢より五圓となりし由

▼▲沙里院溫泉盛況▼▲　沙里院よりの確報の黃海道鐵道にて京城より沙里院及び載寧線も出來る爲め沙里院溫泉は近頃非常なる景氣にて繁昌せり

▼▲物價騰貴と避暑客▼▲　東萊溫泉を初め各地の溫泉共に本年の夏は避暑客激減を少したる由なるがコハ物價騰貴其他の原因に基くならんと

避暑地投票用紙

道名　　地名

京城日報社

祝全國木材業者大會

呉服並 新調仕立物商　安東縣市場通五丁目　梅田呉服店　電話一九四番

木材商　安東縣三番通六丁目　成申洋行　安東縣出張所　電話二七五番　電略（ホ）又ハ（ホシ）

安東縣五番通九丁目　村木洋行　木工部

材木商　安東縣六番通二丁目　村永材木店

貿易商精米業　安東縣市場通五丁目　達廳商會　電話 日本一九六番 同七〇番 中國九五〇番

材木商　安東縣五番通七丁目　裕豐號　電話三六四　分號 天津伊太利租界　電話一八九二番

滿鐵電氣作業所　安東電燈營業所　電話一五五番

營業課目　原木賣買　機械挽製材　製箱業　安東縣六道溝　宮下洋行　電話三番 一八三番

滿鐵專屬木材運搬作業 並船內作業 運送業　Ⓐ荒川組　安東縣江岸通三丁目　荒川啓吉

新義州銀行　電話五〇番

木材商 海運業　安東縣三番通六丁目　廣濟洋行　電話一八五番

木材商　本店京城府黃金町三丁目　電話四一八番　安東縣堂番通り五丁目二番地　木材商會安東出張所　電話一一壹番　支店仁川府宮町三十五番地　電話三二貳番

朝鮮製紙株式會社　新義州府光城面　電話一七〇番　電話一七一番　電話一七二番　電話二三五番

原木賣買　製材製函　木材輸送　新義州府本町一番地　荒木商會　電話二四五番　支店 京城黃金町三丁目　工場 新義州江岸

三井物產株式會社　安東縣出張所（電話三五三番）

合名會社 鈴木商店　新義州出張所　電話一七四番　安東縣出張所　日電三七八番　中電五三番

商況

株式

東京現株 至急電報

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込	三十一日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	△二二三、〇〇
同新	五〇、〇〇	一七〇、〇〇
京電	一〇〇、〇〇	六二、五〇
東拓	五〇、〇〇	▲九八、〇〇
同新	一二、五〇	▲五八、五〇
殖銀	三〇、〇〇	八一、五〇

東京株式 至急電報

休會

大阪株式 至急電報

銘柄	三十一日前場寄付	二十八日後引比較
大株	三〇五、五〇	四〇〇安
同新	三〇九、〇〇	一、二〇〇安
日郵	二八三、〇〇	五〇〇高
同新	一三六、九〇	一、五〇〇高
商船	一八八、一〇	四〇〇高
同新	一三五、〇〇	一、五〇〇高
鐘紡	三六九、九〇	八〇〇高
同新	三四六、〇〇	六〇〇安
東紡	二五七、八〇	一、一〇〇高
東株	一六六、九〇	二、〇〇〇高
當米	……	……
上取	五二、〇〇	……

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込	時價
仁取	二五、〇〇	▲一五一、〇〇
殖銀	三〇、〇〇	七九、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
實興	一五、〇〇	一八、〇〇
皮革	三〇、〇〇	二七、〇〇
東畜	一二、五〇	一六、五〇
朝紡	一二、五〇	二四、〇〇
朝紙	一二、五〇	三二、五〇
商銀	五〇、〇〇	六二、〇〇
釀毛	一二、五〇	三四、五〇
鮮煙	三〇、〇〇	二四、〇〇
仁倉	(權利)	八〇、〇〇

東亞益々好況

新田商店の新株提供

東亞煙草新株は既記の如く豫想外の好成績を以て去る廿六日締切りたるが未だ之れが全國の總計を知り難きも概ね三十圓臺大多數を占め居れる景況なるが如く而も京城のみの申込數九萬二千を超え其中三十圓臺一萬七千に達し而釜山に於ても三十八圓五十錢處五千を數へたる由なれば公募數一萬四千株に對する內鮮の申込數は蓋し莫大の數に達し居るべく從つて今日の處三十五圓以下の申込に對しては募入見込なからんと云ふ此時に際し豫て新進氣鋭を以て鳴る當地現株界の猛者新田商店にては某有力大株主より其の持株に對し割當てられたる新株數千株を委託され一株三十五圓平均のプレミアムを以て賣出したるが前記の如く三十五圓以下の申込は募入不確實と云ふが如き人氣の高潮せる折柄とて其賣行飛ぶが如く孰れも公募の際二十圓臺に申込みたる向の到底募入の望みなきを悟り新たに同店へ申込む者頗る多く既に一千八百枚の大多數を賣盡したる由なるが試みに之れが利廻りを研究せんに一割五分の配當として舊株を七分に買ひて百五圓となり五分に買はんが百五十圓迄買進み得べく左れば新株は最低權利四十圓は下らざるべく五十三五圓の相場を現はすは間も無からんと云ふ而も同社の積立金は從來百二十萬圓を有し之れに今回の新株プレミアム收益最低五十萬圓と見て百七十萬圓の積立を有する事となり基礎極めて鞏固なる會社なれば強ち人氣に買過ぎ居れりとも云ふ能はずと

仁取稍引締る

株券發行氣構か

仁川取引所株は今日の値頭を底こ見て安値買狙ひ筋の弗々買氣を催ほし來りたる爲め人氣稍引締り氣味となり本日田舍筋より五十枚の注文あり百五十二圓五十錢にて商談成立したるが後氣配強硬を呈し居れり一度人氣の崩れ間際は取組高の増加も手數料値上げも何等の刺戟を爲さず盛んに賣募はれたるがイザ多少にても引締ることなれば何も彼も強材料に數へらるゝに至り近く發行さるゝ株券問題も銀行金融關聯して唯一の強材料とせられ而も七月中の取引所賣買概算五百五十萬石に達し之れが手數料收入十萬圓以上となるを以て假りに之れを一年に見積れば百二十萬圓となるが右の如き出來高は素より異例に屬し到底平均數指と見得ざれば百歩を讓り之れが半額を平均收益と見るも尚は六十萬圓の收入を擧げ得る譯にして而も平日の出來高にても大阪東京の大市場を凌ぐ成績なれば玄人筋は這般の不人氣に際しても一向賣急ぎたる形跡なくマバラ素人筋よりの浮動に過ぎざりしが如し

銀行株の買氣

前來諸株式の昂進と共に漸騰し來れる銀行株は其後諸株の反動安を告げたるに拘らず依然強味を失はず特殊銀行株に對する買氣却々綴まずして日銀株の一千百二十圓臺を呈し居れるが如き鮮銀親の二百二十圓臺を拔き新亦百七十圓臺を維持し居れるが如き殖銀の八十圓臺突破の如き頗る市人の注目を集めつゝあり斯く銀行株の買氣強く其利廻りの極度に縮少しつゝあるは全く拂込增資てふ機運の含まれるに依るべきが亦我財界の餘裕を物語るものとすべく株式全般の形勢が彌々惡化せるものならざりせば銀行株も亦低落を免れざる筈なるに銀行株の引續き高値を追ひ居れる所株式の前途尚多望なる證左なりと說く者あり

採算と人氣

大株大新等は姑く置き爾餘の諸株にありては元來が採算的根據を有するものなれば前途特に急激なる配當減の虞れなく且つ現在の利廻りが不良ならざるものにありては如何に目前の人氣が不良なりと雖邊に之れに連れて其持株を放すは資本利用の大旨に反する譯にて此點に關しては一般賣惜しみの傾向あり殊に人氣を主とせば矢張り買氣を誘發され易き事情も存する爲め此境界線に立ちて兎角の思案に迷ひ居れる現狀にして氣配高しと唱へ又安しと呼ぶも實際商內閑散を免れざる所以茲にあり而して大株大新等に至つては元來が採算外の相場が認めらるゝ處に却つて仕手關係に重きを置く現在に於ては之れ特に水際立つて何等かの材料發生するか仕手の動靜に就て變化を見るのでない限り今の儘では不透明の人氣關係に時々離るゝ能はず要するに新甫を迎ふる迄は特種のものを除きては大なる變化を豫想し難しと

勞働問題と株

最近勞働問題は世界的に高唱せられ我國に於ても亦此影響を受けて各所に賃銀の値上げ運動起り爲めに財界の人氣を幾分畏縮せしむるが如し則ち近代の思想は勞働者の地位生活を昂め資本家をして暴利を收めしめずと言ふにあれども是も資本家と勞働者とは協調すべきものにして相剋すべき性質のものにあらず而も近時の賃銀引上運動は全く物價騰貴の爲止むなく發生せるものにて其性質又勞銀の昂上せる結果其丈け收益率を減ずる次第なれども勞働者の地位昂上は購買力の增進を意味し又株式の需要範圍の擴大するものなるを以て現在の勞働問題を悲觀して株の賣思惑を企つるは早計の譏ひありと

本日の商內株

滿鐵第二新百十七圓にて二十枚▲大新二百九十八圓五十錢より三百四圓迄六十枚▲東鐵廿九圓にて百枚▲鹽水港百五十八圓五十錢にて五十枚▲仁取百五十二圓五十錢にて五十枚▲東亞新三十五圓にて千八百枚▲殖銀七十八圓にて四十枚▲鮮銀新百六十六圓にて百二十枚▲亞細亞十圓にて五十枚▲東紡百七十六圓八十錢にて十枚電興十八圓にて百枚▲朝紡廿五圓にて百枚▲宇治川新三十六圓五十錢にて五十枚

米況

大阪期米特電

	三十一日前場	二十九日後場
寄付	三七、八九	三七、五四
高値	……	三七、七〇
安値	……	三七、五〇
止め	……	……

●東京正米高に連れて高し

神戶期米特電

	三十一日前場	二十九日後場
寄付	三七、五九	三七、二四
高値	……	三七、五〇
安値	……	三七、二〇
止め	……	三七、五〇

下關期米特電

三十一日前場(癸、荒模樣) 下鞘唱へ 新甫十月限五十

	當限	中限	先限
寄付	……	三九、三一	三八、三九
高値	……	三九、三五	三八、四三
安値	……	三九、三一	三八、三六
止め	……	三九、三〇	三八、三〇

仁川期米

三十一日前場（愈々爆發）

一昨日強硬に打止めし折柄阪地高値止めに今朝の天候の續いて快晴に鮮人筋は愈々買氣を催して立會前の市場人氣は殆んど買聲のみに充滿され買方をして心臟を寒からしめしが高盛り拍子木に⑳店の買聲に當中は頓着せず先四十二圓二十錢と如何にも社會不安の高値に躍進せし強氣連は目先利喰を行ひ二十錢と押せしが押目は前物踏みに消化され四十二錢と更に反撥を演じ一錢と強勢裡に引

▲第二節 當出來ざるも中限⑦の利喰に⑮店の新規買ひに四十二圓五十錢より八十錢と爆騰し先限は四十五錢と新高値に始めしが目先利喰ひに壓迫されて三十五錢と下押せしが押目は中限高を眺めて買氣立ち再び四十三錢と盛返して引

▲第三節 當中出來ず先四十一錢より二錢と辿り四十錢臺に弛みしが押目の買物に三十六錢へ四十錢と跳返し大阪電報の延著にて一寸落付模樣に三十八九錢を採合ひ三十五錢と打止む

▲第四節 當中出來ず先⑦買に七十五錢と付先二十錢より三十七錢と勢を告げしも押目は賣物絶へず三十三錢と返して引

▲第五節 先三十錢より二十七錢と弱み折柄阪地高電の早耳筋⑪より猛烈に買進み四十五錢と反撥し戻りは又割高思惑に仲惱み四十一錢と弱み結局面強硬ながら平穩に納會せり

市況阪地の高模樣と鮮內各地の旱魃懸念に買物輻輳し六十五錢高の四十圓二十錢と寄付更に四十錢と躍進したるも高値は限かれ押目は鮮人の總崩れに四十先利喰ひと割高賣に二十錢と叩かれ五錢跳返し結局四十五錢と好勢に散會したり

新甫內氣配

明一日より發會の新甫十月限の內氣配は強軟共に見解を異にして區々唱へなるが阪地は七八十錢下鞘見當を報じ居れば如何に強氣材料充滿の折柄とはいへ値頃觀より二十錢乃至三十錢下鞘へが當を得たるものといふべし

三十一日前場

寄付	四十二圓二十錢
高値	四十二圓四十五錢
安値	四十一圓二十錢
止値	四十二圓四十五錢

市場雜觀

◇公定値段

節	値段
一節	四十一圓三十五錢
二節	四十一圓四十一錢
三節	四十一圓三十一錢
四節	四十一圓三十二錢
五節	四十一圓三十五錢

◇出來高 廿四萬二千四百五十石
◇帳入値段 中限四十一圓二十三錢 先限四十一圓九十錢

祭日前の後場は阪地安を移したが逆に漸騰を辿り引際は鮮人筋の猛烈買ひに六十六錢と高値止を演じたが內地も後場は七十錢と當限落ち後の上岐れを移したので休會中の內氣配は戯切高の四十二圓見當を唱へ居りしが値頃や順氣に惚れて四十一圓彌みを賣込んだ弱氣連は周章狼狽尙進んでは連日の晴天によりて各地の旱魃恐れ益甚しく人氣は前途悲觀に強硬を促しつゝあり殊に仁川は每年夏季に入るや內地相場の如何を論せず獨特のピー相場を演ずるのであるか今回も鮮人筋の態度が何うやら雨不足を懸念して買方に大分人氣が集注して來た傾向もある又或經驗家の鮮人は此の儘十日間も晴天を持續せんか平安道の如き水利不便の土地は愈々旱魃を以て枯死田を續出し殆んど收穫を不可能に陷らしむるであらうこて居るこか內地は近年になき好順氣を齎して土用入り後の天候も一層の良好を示して居るので或は背田擧めの暴落を演ずることしても獨り仁川は天候が場の實現を演じはすまいか此處四五日間の雲行き如何に依りて急激なる騰落を演ずるであらうとは又一般鮮人筋の噂で今朝も相變らず早朝より空に一點の雲をも見せず溫度も八十九度の酷暑で買方に氣勢を加へ進んでは阪地の止め高に踏み退きの形勢にて市場の人氣は殆んど買聲のみにて立會は當中出來ざるも先は四十二圓二十錢と五十六丁の大上放れに寄付き益々買方⑦店の猛烈に一躍四十錢と前高値を突破して四十錢と買方をして慘擲たらしむる高値に爆發を演じたるが熟心⑦店も高値は弗々利喰ひの態度を示したれは圓全⑦も續いて賣り二十錢と再び追ひ込みしが押目は踏み退きの旺盛は天候懸念の新規買いも加の二節は更に四十五錢と反撥せしが高値は团店の賣物に⑦も克く賣りて三十圓全の買聲も消化され三十五錢追撃せしが押目はマバラ筋の賣物衰へず遂に四十錢と返し三錢の賣物に大混戰を操返したるが中限の期近高の八十錢を眺めて先は牽制され再び四十三錢と盛返し場面は如何にも侮り難き仁川獨特相場を演じたるが如し

京城正米市場

連日の晴天續きは益旱魃恐れ念を強め揭て內地正米は更に反騰を殺け東京市場は廿八日の九十錢高に次で二十九日は一圓六十錢方の躍進を報じ爲めに荷主筋は更に一段賣腰を強め來れる折柄仁川市場は一部買入中如何なる者ありて之が市場大番狂はせとなり一氣四五十丁の急騰を演じ今朝は定期高の刺戟を受け更に人氣を釣上げ地揚並米の三十九圓にて商談困難といふ成行きを示せり殊に釜山市場は神力三等の四十三圓と祭日前日に比し約一圓高報じ且つ河筋は水量減じ出廻り激減を來せる等旁眼先降雨を見ざれば一段の新高値を演出すべきか

白米引締まる

白米は補來移出口商談不振なりと雖大手精米筋の既約口は內地を始め元山及軍隊米の外滿鐵調べ部の納入米等にて來月一杯は先ご手隙きなき有樣にて地場供給の餘力乏しく自然値段も他所の割高を標準とせらるゝ傾きある機先原料は內地高と旱魃案じに別頭の如く躍進せるより此處精米所は原料の蒐集難と相俟つて更に賣腰を強め今朝は一齊に四十七圓丁度を唱ふるに至りし地も原料この採算上尙多少の上餘なりとて眼先頗る強硬の商狀

小賣白米値上げ

白米小賣値は卸値の續いて引締まりに連れ今三十一日より一錢方を引上げ一等米四十八錢二等米を四十七錢五厘となせり

支那粟益々高張る

旱魃懸念の聲に漸次思惑を增長せしめたる支那粟は天候益固きと正米高値 刺戟を受け商城物十五圓八十錢の買人氣となれるも賣人は十六圓以下には手放さずと頑張り眼先尙一段氣配を高めん模樣あり

內地期正高原因

無償輸送の實施と同時に氣崩れを喚びし內地正米も今後に於ける之が効果の如何は兎に角とし現下尙米價の大勢を一轉せしむべき程の賈賣揭からざるのみならず政府に於ては昨今近畿地方を中心に暗に米の買附を行ひ居るもの如く其內容は詳かならざるも坊間傳ふる處によれば來る端境季に備ふる貯藏が目的なるが如く果して然らば屢當局の繰返せる需給樂觀の言明も此一事によつて觀れは一片の氣安めに過ぎざるもの理といふ次第にて早先急落を告げし東京市場が其後急反騰を演じ來れるも畢竟端境季の米不足が政府の買附によりて裏書せられたりと政府米調施設の矛盾買が動機を爲せるなるがもの如し

南大門廻穀

鳥致院小麥二三八叺平壤粟四五叺伊院小麥二八叺平澤玄米八一四七叺瑞興小豆二六叺平澤白米一二五叺東京川小麥三〇叺東豆川大豆二四叺

仁川正米市場

期米は內地高に牽制されて以前の高値を上廻りますく大井知らずの形勢を示し正米市場又其反響を受け並經分買方も刺戟して三十錢高の三等合格物四十一圓八十錢見當に買氣を帶び來りしが現在に於ては物品潜にて全然商內出來せず地の見當を唱へ居る位に過ぎ弗々在米は增加し入津增加の揚荷米は粉の傾向を示し居るも各地より白米の買注文は相當の高値を買進み來れる爲め勢ひ米の準備に人氣強硬を唱へ居るなるが從來より出廻不況の處に引續きの晴天で旱魃の聲を高め益々農家は賣惜み態度を取り全然出廻り皆無の狀態なるに反し粉は相當の入荷ある模樣なるが如し

釜山正米市場

內地期米高のところ休場明けの卅一日釜山正米市場は內地注文の買込あり三等神力四十三圓こころに七千五百俵の商內出來たり大豆は中牧級十七圓京釜線十七圓六十錢にて商談ありたり（釜山特電）

三品

綿布續いて漸騰

需要期の切迫に買氣依然として旺盛を極め殊に品薄と需要の大部分を占める粗布は頗る優勢なり今朝は三エー現物四百八十五圓十先二十三圓三十五錢迄取組行はれ輕目物又今日迄上げ足鈍ぶかりし反動として此處日立ちて調子付けり其他細布も二十四圓と引締まり一般好調なり

雜報

●釜山海産狀況 拾標煎二十八圓八十錢△チリ返り△三十圓七十九錢△平め十一圓より十三圓△返り大羽十四圓より十五圓△返り中羽十二圓より十三圓△返り小羽十二圓三十五錢△返り十三圓二十八錢處にて四百二拾個の商內出來せり

●釜山水產狀況 水揚高一千三百拾八圓、入船數百二十七隻△たい二五圓△あわび二五圓△ひらめ八四圓△さわら一〇圓△たこ一〇圓△いか七〇圓△すぎ一四圓△にし八圓△たち一三圓五十錢△めばる一〇圓△あぢ一四圓△さば七〇圓△雜魚八圓處なり

日本名刀傳 百十七

東京 田邊南龍講演

五郎正宗（四十七）

助『難有う存じます』村『お祭！申す、何商買になつても其の道に掛けての苦心と云ふものはあるそれにしてもお前さんが死んだ後に殘るお父さんやお母さんは何樣に歎きなさるだらう、然し若い身そらで除りと云へば心が狹いと云ふもの、三年や五年仕込じても何の何の先の長い身だから其中には上手になつて一番に當ることもあらうから、決してく短慮な心得違ひをせぬが宜い、私は物の數にもならぬ男だが、お前さんより先に生れて居るから少しは腕も好い積りやう、今年は私が向ふ槌を鍛つて見やう、相州流の打方には言ふに言はれぬ好い點がある、お前さんの腕と私の腕と合して鍛つたなら上の一番になれやうとも三番迄には往かれやう』助『有難う存じます、貴方程のお方が向槌を鍛つて私に敎ねて下さいますれば私の腕も少しは見好くなりませう、是非お刀を拜借致しまする』村『能く私のやうな者の意見を聽いて下すつた』と話ながら助正の家の門口迄來ました 父『オイく助正ぢやアないか、お前何處へ往つて居たんだ、餘り歸りが遲いから今探しに往かうと思つた所なんだ』助『ハイ、お父さん、此のお方樣にお目通り致しましたので、我家へ御案內致して參りました』父『左樣かえ、是れは何方のお方樣か存じませぬが私は刀鍛冶の助重と申す者でございます、何卒ご苦しうはござりませぬ、お通り下さいまし』村『難有う存じます、私も刀鍛冶の端くれで村正と申す者、唯今御子息にお目に掛つて稍々御話を承はり、兎に角お宅迄お送り申したいと失禮ながら從いて參りました』父『能う入らつしやいました』母親も奥から出て來て態々助正を迎へまして村正は心中に親程難有いものは無い、既に此の若者は死ぬ所であつた、若し死んだなら此の年寄二人は何樣に歎くであらうと思ふと、胸一杯になつて一口〜と濡る〻涙に顏を背けて密と拭つて見返れば、以心傳心同じ思ひか助正も兩親の顏を見て涙を拭ひ、兩親が何彼と禮を掛けましても唯肯くのみでありまする、村正は案內に從つて奥に上り改めて挨拶を致し、熱心の人でありますから、第一番に仕事を見せて貰ひ、先づ父助重の鍛へた劍を見ましたが可なりの腕の人にも思ふけれども、年を老つて如何にも衰へて居る、然れば槌の入れ方に缺點が多い、槌に力が這入つて居らぬから從つて刀身に弱點がある助正の鍛つた刀を見ますると是亦殘念ながら槌の打ち方が少いそれに揚槌が早い、刀身が縮まつて居ない、座敷に戻れば酒食の準備がしてあり、種々馳走になつて其の夜は緩くり寢む、さて翌日は多賀明神へ村正を案內して見せましたが、成程御堂に京油小路の住人藤兵衛尉國重と云ふ大きな名札の附いた刀が上の第一番として納まつて居るお社の傍に注連を張つた大きな杉の樹があります、是れこそ何百年經つたか知れぬ御神木でございます、此明神樣の杉の木を以て小さな杓子を造つて賣つて居ります、之れを求めまして小田は神棚に飾り、病氣に罹りました時は此杓子を以て病氣の起りました處を撫でさすりますと全快致すと申します、又此の杓子、家族一同の名を書いて高い處へ懸けて置きますと疫病神が這入らぬと云ふことが申します、左れば遠方は多賀樣で出來ますからお多賀杓子と申したのを後世お玉杓子と轉訛したのだと云ふ事で、此杓子は多賀明神の名物でございます

咸南共進會（續）

出品計畫標準

類	品目	點數
第八類	馬鈴薯、甘藷、玉蜀黍	一四〇
第九類	澱粉、麥粉、蕎麥粉	一四〇
第十類	鰮粕、乾鰮、乾蛹、荒粕、油粕、押粕、藻類	三〇〇
第十一類	農具	一〇〇
第十二類	農業の經營及生產に關する方法成績	一〇
計		三、七七五
第二部（蠶絲業）		
第十三類	蠶種	四〇
第十四類	繭	五〇〇
第十五類	生絲、玉絲	五〇
第十六類	眞綿	二〇
第十七類	蠶具	五〇
第十八類	桑苗	一〇〇
第十九類	蠶絲業の經營及生產に關する方法成績	五
計		七六五
第三部（林業）		
第二十類	苗木、種子	一五〇
第廿一類	用材、丸太材、製材	一二〇
第廿二類	木炭	三〇
第廿三類	漆液、樹皮、花信子、樹實、下草	六〇
第廿四類	林業の經營及び生產に關する方法成績	五
計		三六五
第四部（鑛業）		
第廿五類	鑛物及び鑛產加工物	一五〇
第廿六類	石材及土石の標本	一〇〇
第廿七類	鑛業の經營及生產に關する方法成績	五
計		二五五
第五部（水產）		
第廿八類	乾製及鹽藏魚、貝類、罐詰魚、油、海獸皮	一八九
第廿九類	漁船漁具及水產製造用機械器具類	三五
第三十類	水產業の經營及生產に關する方法成績	七
計		二三一
第六部（工業）		
第卅一類	綿織物、麻織物、絹織物	一六〇
第卅二類	染物及加工布、裁縫品	三〇

八月二日

（舊七月七日）土曜日 ▲先勝 ▲ひのへいぬ ▲五黃 ▲たひら

▼五黃 進退共に注意すべき日
▼六白 辛抱の仕甲斐ある月にて喜悅の先方に能く通る日なり
▼七赤 喜びごとある日出度き日なり此の機會に萬事行うて吉
▼八白 理想通りに物ごとの運ぶ日にて起業移轉婚姻其他に吉
▼九紫 外面は善く見ゆれ內輪の左程でもなき日、金錢に注意
▼一白 徒勞に屬する事ある日
▼二黑 親しみのある日なれど兎角心中に動き迷ひ起る日なり
▼三碧 思はぬ事で利益を得るか但し他有力なる援助ある日也
▼四綠 他人の爲に世話苦勞あれど世話の仕甲斐のある日なり

演藝案內

喜樂館 本町一丁目 電話九七七番 有樂 八月一日より特選映畫提供 伊太利アンブロジオ會社 死の輝 全六卷

女屑屋 全五卷 伊原青々園 新派悲劇

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇 前三番叟 切狂言 柳川三勇士 長崎おたね

椿姫 全六卷 悲劇

振袖火事 全六卷

大正館 日本活動寫眞會社代理店 電話八七三 八月一日より特別興行 猫の曲藝 長尺 米國ヤーストン會社秀作 探偵 變幻魔術 長尺 七眞珠 十三、十四、十五篇 全六卷 信長と光秀 全

浪花館 勿來庵天風師 獨演

職業 年中無休 特約店募集 豐國商會 大阪天王寺大道一丁目三九一八

新築御披露 安東縣 玉の家 尾上市

東亞煙草新株 提供

今般公募されたる該株は豫想外の盛況を呈しプレミアムは最高四拾五圓以上にて參拾三圓以下は全部募入外となれりとの噂さ如何に前途有望なるやは之れを以て證するに足るべく然るに弊店は某大株主へ割當てられたる新株の一部を譲受け平素の御贔屓に報ゆる爲め特に左記値段を以て分讓仕候間此好機を逸せず至急御申込あらん事を望む

一、分讓價格 一株に付額面超過金參拾五圓也
一、申込株數 貳拾株以上
一、分讓豫約金 一株に付金貳拾五圓也
一、引換方法 大正八年八月二十三日第一回拂込金十二圓五十錢拂込領收證と引換に殘金貳拾貳圓五十錢申受候

公債株式現物問屋 京城府櫻井町一丁目百三十六番地 新田耕市商店 電話一八八一番・二三九〇番

保險金受領廣告

一金壹千圓也

右者豫て日清生命保險株式會社と保險契約致居候處先般死亡に付當地代理店河村專二殿經由願書の保險金正に受領致候玆に同社の確實迅速なること生命保險の處世上最も必要なることを謹告候也

大正八年七月

被保險者 須賀重彦 咸鏡北道清津 須賀遺族

京城西小門町二二地番 田中丸病院 【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり 院長 醫學士田中丸治平 副院長 醫師上野和夫 電話八八五番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七二・一三九〇番

營業所 大阪市西區南堀江下通り二丁目 綿帆布 撚糸 商 大谷商店 電話西三三八九九番 工場 大阪府東成郡榎並町

雨覆シート廉價調製需に應ず

有價證券 現物賣買 京城吉野町一丁目 長電三十番 古閑豊記商店 取引特約店 東京玉塚榮次郎商店 大阪松井伊助商店

若き男女の必讀書出づ（最近刊）生殖器學全書

洋裝美本七百餘頁 價參圓五拾錢 目下割引送共貳圓八拾錢 男女の愛はこれ天の與へし人生の幸福なるも、從來これを秘事として人に語るを避く、されば若き男女はこれに關して人に問ふ事能はず知らず〳〵不衞生に陷り、又は人生快樂の滿足を知らずに不幸一生を終る者少からず、されば昔は嫁入道具の一として本書の如きものを必要とせしも偶然に非ざるなり、斯道大家ドクトル先生我社の熱望を入れ本書を著述さる、內容の豐富、文章の平易は讀者をして悉く滿足せしむ。內容の普及を圖り本社は賣行頗る多く讀者よく人をして販賣界近來の誇りたるべし。密封小包送本（雜誌セキ一冊送）ハガキにて申越次第代金引換にて直ちに送本す、特に目下特別割引中なれば此際至急御注文あれ

發行所 東京神田三崎町 振替東京二八二〇番 メイル、タイムス社

日本郵船仁川出帆

大連、天津、牛莊行 濟州丸 七月日正午出帆
高砂丸 七月日正午出帆
相模丸 七月日正午出帆
仁川海岸町一丁目電話十番 郵船代理店

五光商會汽船廣告

元山、西湖、城津、淸津行 第三五光丸 七月日 釜山、元山發
門司、宇品、神戶、大阪行 第三五光丸 七月日 元山、釜山發
釜山大池回漕部 電話 元山田口回漕店

尼崎汽船仁川出帆

群山木浦下ノ關大阪行
赤心丸 七月日後四時
神代丸 七月廿五日後四時
秀吉丸 七月廿八日後四時
君が代丸 七月日後四時
大有丸 七月日後四時
印船客御注意 仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 電話五九番

共同汽船仁川出帆

大連直行 第一共同丸 八月五日午後六時
第二共同丸 八月七日正午
青島直行 第六共同丸 七月 午前八時
秦皇島行 第十三共同丸 七月 正午
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡 阪神濱大連にて青島行定期船接續 北支那沿岸輸送
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目電話一七三番 仁川代理店 野口商店 元山代理店 田口回漕店 京城取次店 河村運送

朝鮮郵船出帆

敦賀行 淸津、城津、元山經由 平安丸 八月一日 淸津 八月三日 元山
浦汐行 城津、淸津經由 越後丸 八月五日 釜山 八月七日 元山
雄基行 浦項、元山各港經由 京畿丸 八月九日 釜山 八月十三日 元山
咸鏡丸 八月四日 釜山 八月七日 元山
元山雄基線 元山、西湖津往復 鏡城丸 八月四日 元山
大阪行 釜山、神戶經由 忠清丸 八月十一日 元山 八月十二日 釜山
關門行 各港經由 平壤丸 八月十日 元山 八月十三日 釜山
雄基丸 八月五日 元山 八月八日 釜山
金剛山遊覽便 元山發長箭行月六回但自六月至十月
隱岐丸 八月二日 山
鬱陵島行 釜山浦項及各地經由 盈德丸 八月三日 釜山
釜山浦項線 宗信丸○慶尙丸 隔日一回
濟州島行 山平丸 八月八日 釜山
東廻 慶興丸 八月五日 木浦
西廻 公州丸 八月四日 木浦
釜山鬱陵島線 釜山發
木浦順天線 順天丸 八月四日 木浦
多島海行 慶興丸 八月十一日 木浦
木浦行 江田島丸 八月十一日 仁川
海州行 海州丸○全州丸○南陽丸
鎭南浦行 晉州丸 八月三日 仁川
大連青島行 江原丸 八月九日 仁川
○朝鮮鐵道及內外船舶と連絡あり
本社 京城南大門通（電話長三三・三三三）
釜山佐藤町 山支 元山海岸通 出張 仁川代理店 堀回漕 木浦代理店 山野回漕 京城荷客取扱店 松原運送 南大門驛前
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

京城日報　第五版　(年中無休刊)

露國解體裏面と猶太人(一)

前浦鹽守備軍從軍布教監督 大田覺眠師談

偖東京に於て發表せられたる所に依れば勞働者と資本家との協調を圖る爲めに協調會なるものが組織せられたらしい私は此の協調會なるもの、如何なるものかを熟知しないと共に是れに對して今日論及するのではないが吾等の所謂協調會なるものは卽ち『背に腹は代へられず』か又は『情は他人の爲ならず』こいふ樣な意味のもに成立したるものであつたならば決して成功すべきものでない事を斷言して憚らぬ卽ち私は露國最近の事情に照して若し勞働者を宥め賺す爲めに成立したる協調會であつたならば斷じて成功すべきものでないこ信ずる而も『身を殺して仁をなす』こいふ觀念より出でたものでなくては、其の協調會は[illegible]協調會ならぬものであるこ信じて疑はぬ然して『日本に於て革命の勃發する[illegible]露國の資本家が勞働者との協調を計る爲めに相當の待遇を爲さず相當の金錢を與へなかつたこ云ふ是れが若し日本の勞働者であつたならば此の待遇に納得するであらうが露國の幾千萬の勞働者は[illegible]是を以て給與せらるゝものに滿足するものではない、卽ち彼等は『資本家の所得せる資本は我等の所得せる資本なり、されば彼等の資本を分配するは我等の權利なり』こ常に叫んで居た斯の如き狀態に對しては如何なる方法を用ふるもその効果の現はるべき望のない事は更に喋々を要せざる處であつて勞働者の意氣に對して資本家の意氣も亦[illegible]互に敵視するの狀況を呈して居た最近東淸鐵道從業員の同盟罷業が惹起せられたのも此前に於ける露國の一例で[illegible]我が國の一圓に相當しても彼等は僅に三四十圓の[illegible]しか貰はぬ所から職員の俸給を要求する爲め、其の俸給は一ケ月二百ルーブル卽ち我が七圓餘である是れでは彼等が出せる俸給を以て一日を過すべき事すらも不足と苦しんで居る次第であると云ふ彼等は一千ルーブルを要求してゐるが今日露國の事情に依れば[illegible]

ルーブルは復も低落を來して價に我が二錢に相當するものとなつてゐる然し乍ら東淸鐵道管理官たるホルワット將軍は容易に是れを許諾しやうともせず却つて『國家多難の今日に於ける露國民は身命を賭して勞働に從事すべきを徒らに事を惹起せしむるこは甚だ穩當を缺ぐものである』と是等の者は須らく排斥すべき價値ある者である』こ言つて居るのみ主張するのにあらずして大いに憤慨してゐるが彼等勞働者の多くは[illegible]の問題を[illegible]寧ろ勞働者等は漸次其性質を變動し今や權力の平等富の平等を主唱するに至つて居る一日私は東淸鐵道管理官及び極東の總代理たる此のホルワット將軍に會見した後『貴方の管轄區域を巡視するに官吏及び官吏階級は悉く貴下を謳歌してゐるも勞働者及び農夫の多くは悉く反感を抱いてゐるが是衆は悉く反感を抱いてゐる是れにては到底民衆の治安こいふ事は不可能である須らく學校敎員及び智識の僧侶をして宣傳せしめ民心の緩和を計られては如何』こ憚らず陳述したるにホルワット將軍は唯笑一番快然こし『僧侶は未だ露國の眞情を知らぬ處より斯く思惟せられんも露國に於て勞働者の爲に計れば直ちに資本家の反感を抱く事は火を觀るよりも明かなる事である今日資本階級をして反感を抱かしめたならば予の事業たるや萬事休するの已むなきに立至るものであり卽ち資本家を援けて勞働者を壓服せしむるより外に今日は是こするものである悉く陛下の赤子たる日本こ異り露國は資産階級が勞働者を支配するのであり過激派の勃發したのは小學敎師及下級僧侶が宣傳をした爲めに起たものに外ならぬ』こ言つてゐる卽ち露國は斯うして資産階級こ勞働階級こが相反目してゐるものであつて從つて其政黨たるや白は白黑は黑こいふ如くに恰も縞を横に切斷たる如き日本の政黨に對して露國の政黨は縞の縱に斷つた感がある、そこで軍隊の如きもホルワット將軍の部下には一人の兵卒もなく悉く士官ばかりで多大なる困難を感じた時もあつた多くの勞働者の俸給を以て農夫及び勞働者を兵隊に雇入れても一度意に充ぬ事があれば直ちに鉾を逆にしてゐるたそこで已むを得ず富豪の息子を無理に兵隊こしてゐるたが斯る軍隊を以て勢力を張る事は到底覺束ない事である茲に於て一族一家より成立せる一萬の兵力を有するセミヨノフ軍の

力には道のコルチャック將軍も手を染めてゐる次第である卽ち斯る狀態にある露國は今や聯合軍の威力を以て漸く治安を保持してはゐるが若し聯合軍の撤退を見たならば其の日より再び紊亂狀態に立ち返ることは豫測し得るのである卽ち露國の過激思想たるや今や殆んど全土に瀰つて居る隙なく而も聯合軍の威力で壓伏せられた反動として從前より猶一層思想を強固にした感がある多數の幸福を求め多數に依つて政治を行はんとする卽ち勞働者等の多數主義者は官僚政治より分離して自治會及び購買組合なるものを組織してゐる其の會長は先づ[illegible]にてはメドエフコフ、ハバロフスクにてはブラセンスキー、ブラゴエチンスクにてはアレキセーフスキー、チタにてはロバーチン等といふ第一流の政治家を以てしてゐるものであつて極東に於ける是等の政治團はホルワット將軍に承服しないのみならず大いに反對的態度を執りつゝある若し聯合國の干渉が無かつたならば直ちに是等の政治團は悉く立つのであらう斯く渾沌たる今日の露國に就て大いに注目を要する一事がある若し此一事を諒解する事が出來たならば露國が今日の渾沌を來せし其最大重なる原因の一部を知る事が出來るかも知れない

物價前途如何(四)

戰後の騰貴

六月の指數三〇一、六三は、戰前、戰時中休戰後を通じての最高指數にして是砂糖の八十七ポイント、綿絲の六十九ポイント味噌の八十五ポイント、モスリンの五十三ポイント等も顯著なるものこして總數五十六品中卅九品が前月に比し騰貴せるに因るもの也試みに戰前大正三年七月の指數を百こして本年六月の指數を換算すれば二三九、八六こなり卽ち十三割九分八厘六毛の騰貴を告げたるを見るべし英米佛何れも最近再び騰貴の趨勢に復したること既述の如くなるも未だ戰時中の最高指數を凌駕したるを聞かず此點も亦我國物價の消長に現はれたる特殊現象の一なりこす

種類別騰落

以上は我國物價消長の大勢を示したるに過ぎず如何なる貨物が休戰に依つて最も打撃を被りたるか又其後如何なる變化を呈せるかは追つて茲に左の種類別に依る消長を見るに止むべし

一、燃料(四)石炭、石油、炭、薪
一、雜貨(八)油類、[illegible]紙、生漆、木蠟、皮革、[illegible]
一、建築材料(八)木材、洋釘、[illegible]材、煉瓦、瓦、セメント、壁表、硝子板
一、織物及原料(一四)生糸、羽二重、絹手巾、甲斐絹、絹裏地、綿絲、白木綿、眞綿、金巾、綿[illegible]、フランネル、モスリン、毛繻子
一、食料品及類似品(一七)米、大麥、裸麥、小麥、大豆、小豆、小麥粉、砂糖、茶、鹽、味噌、醤油、日本酒、鰹節、鷄卵、煮[illegible]、洋酒
肥料(三)肥料、魚肥、油粕

休戰の影響

次表は戰[illegible]

	鐵及銅	燃料	穀類	建築	織物	[illegible]	肥料
三年七月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七年十一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同十二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八年一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

[illegible]休戰の打撃[illegible]前後の恢復速かにして六月末に於ては昨年十一月の數字を凌駕して新なる高値を示せるものこしては燃料及び雜物を擧ぐるを得べし最後に休戰の影響の極めて輕微にして依然戰時中こ大差なき高値を維持せるものは食料品にして肥料亦趣を一にせり細は次表に依りて會得すべし

休戰後變化

鐵の如き戰時特殊の事情の下に在りしものを除きては休戰に由り低落甚だしかりし貨物趣きこれは概して窺ひ得べし戰前大正三年七月の指數を百こして七年十一月及び本年六月の指數を換算し之に依りて戰前この騰貴割合を見るに休戰當時に在りては鐵銅の二十九割三分八毛騰貴を最こして燃料、雜類其他之に次げること次表の示す如くなるが本年六月に至りては燃料は戰前に比し十八割七分四厘七毛こして最上位を占め以下夫れ〳〵其順位を變じたり

七年十一月騰貴率		本年六月騰貴率	
鐵銅	二九三、八八	燃料	一八七、四七
燃料	一七四、一八	鐵銅	一七三、九八
雜類	一六二、三七	織物	一五九、七七
建築	一四八、三四	雜類	一五三、三八
織物	一二四、一七	建築	一三五、二八
食料	八〇、六五	食料	一三三、九二
肥料	七九、〇〇	肥料	一〇九、六九
平均	一三五、三九	平均	一三九、八六

鐵類及び雜類を除きては何れも一層の騰貴を示し特に燃料、織物、食料品、肥料等の騰勢愈々熾なるは國民生活上に及ぼす影響の大なる點より特に注目に値する所なるべし

錬膽錄

等楊禪師

三笑生

◇等楊禪師は雪舟と號し、我國の畵界に古今獨歩の名を擅にして居ることは、世の共に知る所であるが、雪舟の畵は、殆ど天才的であつた。

◇彼は幼にして出家したのであるが、經文を習ふことはそつちのけで、暇さへあれば、繪ばかり畵いて居た。師僧は、道業に勵ることを固く禁じた。けれども此の小畵家は、師僧の呵責を畏れるよりも、繪を畵くことを好む情の方が烈しかつた。隨つて師僧の眼を偸むで筆を[illegible]遂にはそれが知れたので、師僧は怒つて本堂の柱に縛りつけて仕舞つた。

◇師僧は、日暮になつて『あの位にして置いたら、少しは懲りたであらう』こ、本堂に往つて見るこ、雪舟の足もとに鼠が跳んで居る。師僧は之れを見て大いに驚き、小僧に傷でもつけては大變こ之れを追ひ拂はうこしたが、鼠はいつまでも其處を動かなかつた。不思議に思つて、よく〳〵見るこ、それは雪舟が縛られた愁苦の涙の、板上にポタリ〳〵落ちたのを、足の拇指につけて、鼠の形を畵いたものであつた。それからは師僧も感服して、繪筆を執るここを許した。

◇寛正年中、彼は海に航して、明に渡り、師を尋ねて道を求めた。そして修業の餘暇には、好きな畵道を勵み、支那は大國、名手も多からうこ、人に就いて第一流の能畵を訊いて見るこ、李氏こ張氏こを推稱するので、親しく其の門を叩いて、其の畫く所を見たが、一つも雪舟の意に充たなかつた。そこで彼は考へた。自分は遠く明の地に遊んで、畵師を求むるに一人の學ぶに足るものがない。大明國裡に畵師なしこすれば、唯此の名山大川奇草異木を以て、師こするより外はない。卽ち師は我れ自身にあつて、他にあるものではないこ、それより愈々敢勵して、内に神を凝し、外に勝を探つて、工夫研鑽を怠らず、遂に妙致を體得するに至つた。

◇有聲の畵たる詩、無聲の詩たる畵、その趣きに於て一味なるは、言ふまでもない。また詩禪一味である如く、畵禪同趣なるここも言ふまでもない。禪に師なし、我を師こし、宇宙を師こすこ云ふが如く、また詩にも畵にも、總ゆる藝術にも、師は我に在り、我は自然を師こするこ云ふに至つて、その妙致を合せ[illegible]

發明世界

毎月一回發行　一千金の新發明は諸君を待つ　無盡の寶　[illegible]

本社特製 白龍 蠶種　定價壹枚金七拾錢也　御注文次第隨時出庫

蠶具　秋蠶飼育用、蠶種製造用、鏡檢用、製絲用、各種

繭絲　精繭、玉繭、出殼繭、屑物、生絲

遠き地方は郵便切手にて御送付を乞ふ　定價表御申込次第進呈　賣買共に御相談に應ず

龍山驛前　東亞蠶絲會社　振替口座京城五一九九番

冒險世界

八月號　海を知れ國民　水蛇の背を踏み　不可思議なる海の謎　深海に棲む怪魚　世界一番の危險海　人體鎔鑛爐　疑問の死體　八百哩　水泳冒險

定價廿五錢 郵稅一錢　東京本町 博文館 振替東京二四〇

營業創立明治二十八年
各時計卸商
貴金屬製作卸所 豐國火災保險會社第一代理店
京城黃金町二丁目 喜多金光堂
(電話一〇一五) 振替京城七八二番

ラバロイドルーフィング
便利瓦
米國紐育スタンダードペイント會社製
朝鮮特約店 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店

簿記　通學 寄宿 校外 募集　[illegible]　東京芝區櫻川町十一　日本簿記學校

世界戰役平和記念章牌頒布に就て

今回當造幣局に於て鑄造せらるゝ世界の戰役平和記念章牌は此曠古未曾有の大戰に參加せる帝國臣民が永久に傳ふべき最適當なる記念品なれば之れを左記の價格を以つて汎く希望の方に頒つことに致候

造幣局內 造幣學術研究會

今回平和記念章牌朝鮮全道頒布方一切を弊商會時計部に於て引受け候に付き御希望之御方は八月拾五日迄に御申込相成度候

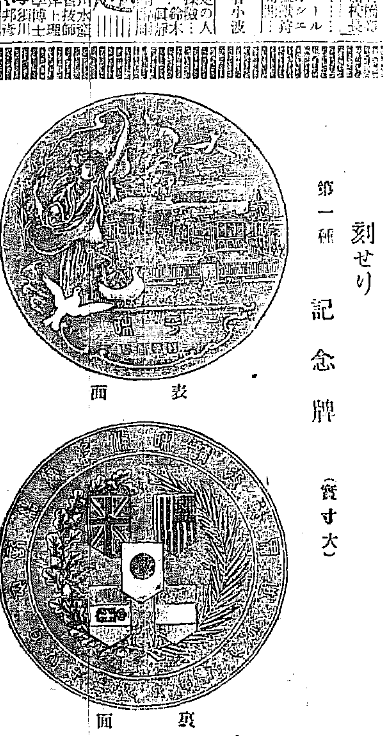
猶朝鮮は關稅の關係上定價は左記之通り相成候

意匠說明

表面平和の女神が右手に月桂樹を保持し左手を高く差上げて平和の表徵たる鳩を瑞雲の棚曳く講和議場ベルサイユ宮殿の上に放ち以つて平和天來の意を示し平和の二字と其下に造幣局製の四文字を篆體にて顯はしたり

裏面聯合國の代表五大國の國旗を盾の形に組合せ之れに橄欖の葉と柏の葉を配し以つて聯合國勝利の榮譽を表示し且講和條約調印の日を之れ亦篆體にて刻せり

第一種 記念牌（實寸大）

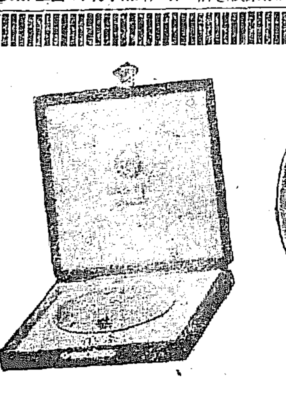


表面　裏面

銀製記念牌 總クロース張サック入 金八圓四十五錢

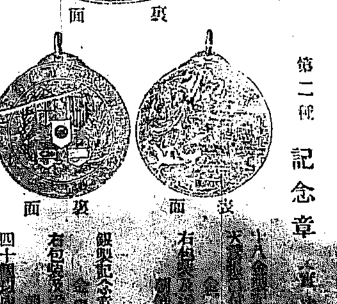
銅製記念牌 總クロース張サック入 金貳圓〇九錢

右包裝及送費(三個以內に一) 朝鮮全道貳十三錢



記念牌 總クロース張サック入圖

第二種 記念章（實寸大）

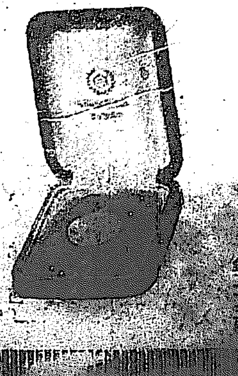


表面　裏面

銀製記念章 金[illegible]

右包裝及送費(三個以內に[illegible]) 朝鮮全道金十八錢

四十個以內同 金二十三錢



命製記念章 天鵞絨張筥入圖

豫約申込規定

一御申込には必ず前掲逓送費を加へたる前金御送附被下度御送金は郵便爲替若くば銀行爲替に限り願上候但し代金引換便及郵券代用は此記念章事務に限り整理上謝絶仕候

一逓送費の不足は再請求の爲め自づこ申込登錄並に發送に遲延を來し候間左樣御含み願上候

一現品は造幣局よりの廻付に隨ひ來る十一月一日より申込順により書留小包郵便にて發送可仕候

一發送は凡て書留小包郵便に付別に發送案内を差上げ申さず候

一事務整理上一口金[illegible]圓以下は謝絶致す事に相成居候に付可成團體(學校、敎育會、青年團、在鄕軍人會、將校團、會社商店)[illegible]志にて取纏め御申込相成候樣願度逓送費にも御利益と相成候

一豫約御希望の御方は御一報次第申込用紙御送附申上候

朝鮮全道一手申込取扱所

京城本町一丁目
株式會社 大澤商會京城支店
記念章係
時計部長 電話[illegible]番
寫眞部 電話[illegible]九番
自轉車部長 電話四八〇番
振替 京城 二三一番

米國山東調停案

國務院の諾否返電＝北京政府に寄せる

顧維鈞氏が米國側の山東問題調停案として北京政府に寄せる大要次の如し（一）日本は膠州灣を支那に還附し支那は完全に主權を恢復す（二）日本は期限を定め駐屯兵を撤退し又獨逸の財產取得權の繼承權を破棄し支那は之に對し賠償を爲す（四）青島は各國共同の租界とす（五）山東鐵道は借款の形式に依り日支兩國合資經營とす（六）鐵道警察は特別編成とす（七）青島の築港は日本に於て經營せしむるも支那は特別の權利を有す（八）支那は對獨平和條約に調印す 右に對し國務院は廿八日同氏宛て返電を發し一項より四項迄は異議無きも五項の既設權を撤し七項は廢約を主張すと云へり（上海電報）

山東問題と批准

興味ある支那の態度

米國上院に於ける山東問題の論議は常に日米國交を害するが如きものありて洵に遺憾なるが反對者の多くはウィルソン氏窘めの對內策より割出されたる者と考ふるを至當とすれど日本の眞意の徹底せざる點もあれば外務當局よりも駐米代理大使をして屢々國務卿に說明せしむる所あり米國の批准は上院三分の二以上の同意を經る必要あるを以てウィルソン側勝利を占むべきも今日の處山東保留に關する議論は俄に樂觀を許し難く現に一方に於ては日本としては一再ならず山東に關する聲明を試みたるも尙ほ支那委員側は同樣の主張をなし英佛側にも運動し居る形勢あれば……

明治天皇御例祭

三十日は明治天皇御例祭日に就き宮中皇靈殿にて莊嚴裡に御祭典を御執行あらせられたり東宮殿下には當日陸軍大尉の通常服にて御參內直ちに東帶黃丹袍に御召替へ笏を執らせられ式部官御先導にて御拜禮御玉串を捧げさせられ續いて各皇族殿下原首相以下の拜禮ありたり（東京特電＝延著）

支那新借款問題

我國の態度未定

支那は一般政費並に軍隊給與に關し北京銀行團に向け二千四百萬元の借款を申込たるが新借款團組織の議ある今日なれば倫敦に於ける該銀行團本部に指令を仰ぎたるが倫敦銀行團より未だ何等の返答を與へ居らざるも一方新借款團組織に關する其後の經過を聞くに英、米、佛等は無條件にて直ちに細目の協定に入らんことを欲せるもの、如く日本にも屢々何分の返答を求め來れるが我が國論の歸趨は滿蒙を除外せざる說に絕對反對にして無條件加入を斷行し難き事情あり政府當局は英米等よりの同答の督促と國內の輿論に板挾みとなり寄り〳〵協議を遂け大體滿蒙除外の一點は極力主張する事に傾きたりと云へば三國の反對すべき點は殆ど疑ふ餘地なく今日迄同答を遣り居るものと信ぜらる（東京電報）

米國山東問題

和黨なるロッヂ、ボラーの二派［illegible］刀主張す［illegible］同する所ありた［illegible］

支那新關稅實施

支那政府にては新關稅法に關し米國政府よりも承認の旨通告ありたるを以て愈々八月一日より實施の事に確定せり（東京特電）

關稅剩餘金苦情

伍廷芳氏は廣東軍政府が去八日占有せる關稅剩餘金五十萬兩の分配を獨斷臨遊せしため各方面より苦情出で目下問題となりつゝあるもの、如し（北京電報）

吉奉紛擾解決

三者會見の結果

某所著電に據れば孟恩遠氏は手兵を率ゐて廿八日長春に著し鮑督軍代理貴參謀及び張奉天督軍代理と廿九日會見せるが其の結果孟氏の部下一箇師團の兵を北京附近及び其他の地方に移し高士儐氏其他直屬の部下は孟氏之を率ゐて去り吉林軍權を鮑督軍に渡し、高士儐氏の兵を動かしたる罪は之を問はざる事等の條件にて妥協成立しこれにて一時危殆に陷りたる吉奉兩軍の紛擾は解決を告げたりと（東京特電）

東清線破壞後報

原因未だ判明せず

既電東清線破壞說に就き目下調查中なるが詳細は尙判明せず一說には卅日來の豪雨の爲め自然線路の破壞を來したるにあらずやとの說あり同日午後五時哈爾賓を發したる支那兵搭乘の軍用臨時列車は右線路破壞の爲め途中より哈市に引返したるも三十一日午後一時長春に到著す可く該列車には鮑督軍搭乘し居るにあらずやとの說あるも詳細不明にて東清線は卅日來未だ一回も長春驛に發著なし（長春特電）

總督府官制改正案

樞府特別委員會議事決定

政府異議なくば不日本會議開會

朝鮮總督府官制改正案は屢報の如く政府より案を具して六月下旬樞密院に廻附したるが同院に於ては案の性質が帝國の將來に最も重大なる關係を及ぼし且つ關係法規の廣汎なるに鑑み原案に就きて最も愼重なる審査講究を盡し七月十四日以來愈々伊東巳代治子委員長の下に末松謙澄子、濱尾新男、穗積陳重男、安廣伴一郎氏、一木喜德郎氏、久保田讓男、富井政章氏、井上勝之助侯の各委員に依り特別委員會を開き附議したるが政府より急速進行を希望する事情ありしを以て暑中休暇に入れるにも拘らず十五、十七、十八、二十二、二十四日と相次いで開會漸く廿九日の第七回特別委員會を以て同案に對する委員會の議事決定を見るに至れるが委員會にては政府原案の精神に就ては異議無く唯能くこれが精神を維持し法理、法文の完全を期せしむる上に於て多大の苦心存し［illegible］從つて原［illegible］く之に對［illegible］る時は［illegible］ることなるべき異議無くば近く本會議を開き附議する事となるべく而して右官制改正に附隨し官制、朝鮮總督府地方官官制同警察官署官制、朝鮮駐箚憲兵條令等の改廢を見るに至るべし（東京特電）

臺灣米外米代用制度

十二月初會迄施行

政府は臺灣米、外米の代用制度を本年十月限賣買迄施行する事に寫し居たるが今回十二月初會の分迄施行することゝし三十一日此旨各取引所に向け打電したり（東京特電）

全國材木商大會

一日開會式

安東にて開催さるる第廿一回全國材木商聯合大會出席の爲め內地鮮滿各地より來會者續々來安しつゝあり卅一日は新義州府廳にて委員會開會議事々項に就き協議する所あり八月一日は午前八時より聯合大會開會式を擧行し引續き［illegible］催さるる筈なるが二日新義州會堂にて議事續行の後營林廠主催宴會に臨み夜は鴨江日報社主催の［illegible］大會に招か［illegible］

軍服を脫いで

何事も官民一致共同が肝要

元關東憲兵隊長 限部少將談

三十一日夜入城せる元關東憲兵隊長限部親信氏は語りて曰く今度は永年著通した軍服を脫ぐ事になつたが無官の大夫で旅行すると心氣頓に暢達を覺ゆ大陸の病氣に罹るよと呵々大笑する……久し振りに舊知の山川に接し其

山容の蒼蒼たる

には驚いた山のみ單り蒼蒼たるに非ず萬般の施設の之に伴ふものあるや必せりだ……來城の要務と云つて別にない閑になつたから遊びに來たと云ふ迄の事さ四五日は滯在する積りだが京城も大變暑いと云ふ事だから能く蝕順するかも知れぬ京城の住宅問題では大分困つて居る樣だが大運動で隨分喧しかつた住宅問題の如き民間のみに賴つて居ては到底今の材料高から推して解決がつかないそこで思ふに此場合は官民合同で解決しなくてはならぬ單に住宅問題と云はず今後諸般の事

官民一致で

解決を要するもの多々ある何—覺城子—問題かね僕も待命になつたから今後のことは如何なるか知らぬ

染料工業前途

思惑輸入皆無

前月末獨逸の講和調印以來染料及び工業藥品市場に於ける一般前途の觀測は區々に岐れたるも要するに今後米國を始め英、瑞等各國よりの輸入漸次增加し先行市況漸落步調を辿るべしと唱ふる多く向

大勢は先安

人氣の低落は推移し來たりしも染料工業藥品賣氣を萎縮せしめ思惑的輸入皆無の模樣なり（東京）

フユーメ問題解決乎

五國會議の結果愈々フユーメに於ける佛伊兩國兵衝突事件に付き實地調査の爲め特に軍艦に搭乘同地に赴きたる英米兩國委員は尙ほ調査中にして其の眞相を明かにするに至らざるも佛國側は最も猛烈に

伊國の非を鳴らして

攻擊せるに對し伊國は謝罪的態度に傾きつゝありとの情報あり曲伊國にあるが如きを以て同事件は英米兩國の仲介により近く何等かの解決を見るべく推せらる又伊國のフユーメ領有問題は伊國が宿望たるアドリアチック海の制海權を獲得し以て爾後佛國及びアフリカに備へんとする目的を貫徹するにはフ港領有の要ある爲め飽まで其の領有を主張せるも彼の倫敦條約には參戰の代償としてフ港を伊國に割讓せしむべき規定なきにより米國は今尙反對して讓らず目下の形勢にては伊國の主張は貫徹すべくもあらざるを以て伊國も

主張を斷念

し結局聯盟によりフ港を自由港たらしめ其代償として英米兩國の小亞細亞に於ける炭礦に權得割込み自國に於て最も缺乏せる燃料問題の解決に努め自國工業の隆興を期し以て參戰の目的を達せんとする意向なるが如きを以て米英佛等に於ても之れに同意を與へ此妥協案により久しく紛糾せる同問題の解決を告げんとするに至るべし（巴消息通訊＝東京）

［illegible］を通じ輸入物は孰れも需要旺盛裡に品薄の爲比較的底強く保合み繼續せり而して季節柄喉藥製品及び石鹼製造原料なる松脂、曹達灰及び苛性曹達類は頃來國物市況稍沈丈を傳ふるも輸入減少の爲め強含みを呈し松脂は本年四五月頃米國百封度十五圓を唱へし內地は却つて十三圓二三圓方割安を叩きしより輸入不引合にて在庫品著しく減少現今米國にては生產不足の爲め漸騰を唱へ居り十八圓見當の契約品來月中旬に入荷すべければ目先廿三圓見當迄は漸落すべし苛性曹達は百封度內地は十二圓五十錢

米國は十圓

を唱へ居り來月頃九圓見當の契約が米國より輸入すべく是亦目先低落は免れざるべく且つ孰れも米國市場の先物契約は前途各國の生產增加を見越し割安を唱へ曹達灰は本年一二月頃に英米輸入品潤澤なる爲め米品百封度五圓五十錢英國ブラナモンド九十五パーセント物六圓十錢と各本國より安値を叩ける爲め入荷絕內地藥品中各製藥會社協商の結果原料仕入及び製品價格を自己に有利ならしむべく共同販賣の方法を執れる硫酸硝酸及び鹽酸は硫酸二百封度入一箱八圓硝酸百封度十五圓五十錢鹽酸百二十封度入一箱

六圓に躍進

し丹礬は原料銅價の奔騰せると前來割安なりし爲め百斤二十六圓に昂進綠色染料擴基性者は內地品［illegible］

佛國支那貿易

上海日本人商業會議所入報によれば戰前佛國の對支貿易は日英米獨の下位に在りたり。戰爭中支那市場は殆ど日米品の跋扈に委し佛貨を容るるの餘地なかりしが今後佛國が支那市場に對し如何なる製品を供給すべきかに就きビーラ氏は曰く支那に於ける外國品は之に二種あり一は在支外人一は歐風に感染せる支那人なるが前者の需要品は毛織物、綿織物、皮革品、石鹼、香料、マッチ等にして後者の需要品は麥粉、石油、金屬機械、玻璃器等なり石油麥粉砂糖等は佛國の產額到底他國に拮抗し得ざるも織物、酒類裝飾品に至つては遠く他國の及ばざる所なり次に輸出品は生絲の如く之は支那の原料品は石炭及び鐵、鋼、棉脂、牛皮、豐富にして加工品としては磁器、絹織物、漆器等あるが今や在佛支那人は佛支兩國の連絡を緊密にし支那政治家中にも此種の計畫を高唱しつゝありと（東京）

忠南と會社

大正七年中忠淸南道に於ける會社總數は三十三本總額七百三十六萬二千餘圓內拂込額五百六萬八千餘圓なり而して投資事業別を示せば左の如し

投資別	會社數	資本額（萬圓）	拂込額（萬圓）
農業關係資金	六	四一五	三六五
商業關係資金	五	四〇	四
工業關係資金	二	一〇	五
鑛業關係資金	一	二〇〇	二〇〇
銀行金融關係資金	一三	三八	一三
運輸關係資金	二	一	一
瓦斯電氣關係資金	一	一〇	一〇
其他に屬する資金	三	二一	八
計	三三	七三六	五〇六

龍山蠶繭取引

龍山管內繭取引商十六名に就き調査を遂げたる本年春蠶繭取引狀況を聞くに龍山管內に於ける蠶繭買込高の總石數一萬四千二百餘石にして此價格百三十五萬七千餘圓を算し一石の取引價最高百五十一圓七十錢最低二十六圓なり而して右買込總數の內約一割は三阪通り齋藤製絲會社に於て直接使用し其餘は愛知長野の兩縣を主として京都高知德島山梨大分等の各府縣所在の諸工場へ送附し居れり而して之が生產地の主なるものは全羅南北忠淸南北慶尙南北及び京畿の各道にして多くは各郡の蠶繭共同販賣所より龍山へ移送し來りたる者也

土地調査委員會

三十一日午前九時より總督府第一會議室に於て［illegible］

森林鐵道進捗

會社組織

［illegible］進行中の朝鮮森林鐵道は東拓の引受け株その他につき發起人側との間に協商中なりしが右の用向にて東上せし朝鮮側の發起人津田鮮銀總裁も兩三日中歸城の模樣につき近く株式割當も決定すべく旁々一萬株若くば五千株を一般に公募する事となるべし

鮮銀地金買入

京城に於ける地金の價格は殆んど平價に復したる關係上朝鮮銀行に地金買入れを求め來る者は漸次增加し雲山金礦その他小口の砂金業者等近來漸く多しと

箭灘驛貨物數

成鏡線箭灘驛停車場に於ては八月一日より車扱及び一車扱貨物の取扱を開始する事となれり

○安心丸と朝郵　遞信省の旨を受けて西鮮沿岸に廻航する日本郵船會社の安心丸に對する米の積荷は朝鮮郵船にて統一することなり居りその積荷の振分け手配等は一切同社にて之れを掌握する事となり居る由にて近時仁川に日郵代理店堀商會と某荷主の間に安心丸積荷の問題につき一種の紛糾を起しその餘波を朝郵に及ぼさんとする模樣ある由なれど朝郵には全然責任なしと

○土佐勸業增資許可　本店を高知縣伊野町に支店を忠南江景に置き土地建物の賣買其他の業務を營める土佐勸業株式會社は從來資本金七萬三千七百七十三圓二十六錢を金八萬圓に增資せむとするの件につき出願中の處七月二十九日許可ありたり

○大邱酒造株式會社　發起人吉田善作氏外六名の出願に係る大邱酒造株式會社設立の件は七月廿九日付許可の指令ありたり同社は本店を大邱に置き資本金三十五萬圓を以て清酒味淋燒酎白酒新酒の醸造及び販賣を爲すものなりと

內野中將歷訪

新任宇都宮留守第十四師團長に榮轉せる內野中將は三十一日午前總督府其他を訪問挨拶を爲したるが來たる十一日午後七時五十分發列車にて任地へ出發の筈なり

米國監督訪府

米國宣教師監督デビス氏は今回新に就任せるに就き同國宣教師ノーブル氏の案內に依り卅一日午前十時總督府に山縣政務總監久水外事課長を訪問し挨拶を爲したり

○小原長官安東出張　農商工部長官小原新三氏は二十九日附任［illegible］安東縣に於ける木材業者大會出席の爲め［illegible］

鮮銀幹部出發

美濃部鮮銀總裁は來る二十日の株主總會出席のため來る三日若くは四日出發東上すべく又木村理事も近く歸城中の大田鮮銀理事も近く歸遲し吉田營業局長は五六日頃東上大原司事は總裁と同行東上すべし

［illegible］一日午前九時五十分京城大門驛發列車にて出發せしが秘書事務官多田屬隨行せり

○高等警察課長事務　警務總監部高等警察課長前田大佐の轉任により時永保安課長同課長事務を取扱ひ居れりと

巡査練習生來著

新潟縣に於て募集せる巡査練習生四十九名は二十九日午後七時五十分著列車にて入城直に練習所へ入れり

○齋藤氏に記念品贈呈　今回陸軍異動に因り總督副官より第六十聯隊に榮轉せる齋藤大佐に對し總督府大塚參事官、荻田、久水兩局長、遠藤秘書官諸氏發起の下に記念品贈呈の議あり金額は五圓、三圓、二圓、一圓內外にして希望者は總務局に申込まるべし

○神港商業生徒平壤行　神戶市立神港商業學校江藤誠之同三島壽之助兩教諭引率の下に同校生徒九名視察の爲め釜山經由卅一日朝入城同日諸官衙商業會議所等見學の上一日朝平壤に向へり

人事消息

▲吉武篆氏（鐵道士）全州へ出張中の處三十日歸城
▲松波林學博士　廿一日朝退城

鳥瞰錄

近頃勞働問題にしろ婦人問題にしろ何かに付けて國際的とか何とか世界的に大きくなつて來た▲所謂交際が廣くなつた譯だが有難いか難くないかは別問題として隨分事が面倒になつた事は爭はれない▲國際婦人協會などでは今度戰爭が勃發するやうであつたら世界中の婦人の總同盟罷業を遣るとは鼻息が荒い▲成程世界婦人連が同盟して亭主に反旗を飜したる事だ▲それでなくても婦天下の多い歐米では平生から亭主は大分［illegible］の膝に敷かれて居るのだから▲差し當りクレマンソー君でもウイルソン君でも奧樣が反對されば手の出し樣があるまい▲昔希臘の婦人連も之れと同樣な威嚇を試みたが失敗して居る▲それは亭主の方がずつと豪かつたからだが今頃は反對の氣分があるのみならず女達も大仕掛にやつて居るから成功するのかも知れぬ▲女と云へば大事にする佛國では上院で婦人參政權を否決したとか▲此奴にはお轉婆連も眞ッ赤になつてキイ〳〵騷ぎ出すのだろう而し否決は大出來だ▲乾度職員中に腕倉を取られた者もあつたらうが［illegible］くつても夕食の二三度は［illegible］られた先生もあるだらう［illegible］計な心配

商業登記公告
一、三井物產株式會社（變更）大正八年七月貳拾五日取締役藤村金雄ハ其住所ヲ東京市赤坂區新坂町拾四番地ニ移轉シタリ 右大正八年七月貳拾九日登記 京城地方法院仁川支廳

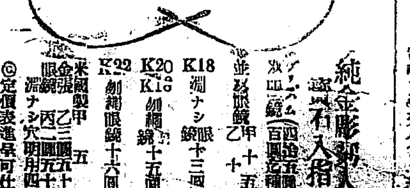
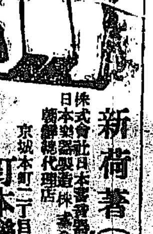
最新刊
福田德三著 黎明錄 送料十二錢
帝國法論 科學と宗教
グリム物語 法學通論
歐米教育印象 野上
賢愚愛ある 上 有嶋
鴬・興味ある
石上 漆之助 圖解の算術 上野松峰 二〇

西行 八十五錢
朝鮮金石總覽 朝鮮總督府編 定價七十錢 上下二冊
慶山全集 第十五
英文法 米井武八郎
時代の新建設 久布白
世界史 大田將美
社會主義と民主主義思想 今井
大阪屋號 京城本町一
京城府本町一丁目 電話二〇七番

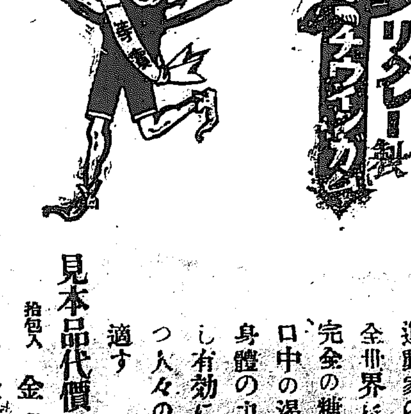
競賣廣告
大田某家秘藏ノ書畫骨董品及持寄品ヲ併テ競賣仕候條御來會被下度候
八月一日 午前中下見 午後二時賣立
會場 京城美術俱樂部 東拓ノ横 電話三十四番
札元 京城美術俱樂部 電話一〇二番

周易 家相 岡村介石 京城黃金町二丁目

印刷機械、國產及舶來石版石附屬インキ、シテ紐、國旗及附屬品、細工、農具、雨傘、竹棕梠製品各種新荷著
京城府本町三丁目 藤富國太郎商店 電話二七〇番 振替口座一二九番

純金彫刻入
近視遠視老眼鏡

K18 縁ナシ 眼鏡 十三圓以上
K20 K18 縁鏡 十五圓以上
K22 縁ナシ眼鏡 十六圓以上
金張眼鏡 甲 五圓 乙 二圓五十錢
並 眼鏡 甲 十圓 乙 十
米國製 縁ナシ穴明四圓
◎定價表進呈可仕候
懷中時計 金銀
實用 萬年筆 品揃
新荷著

日本勞働機關 株式會社日本樂器製造 代理店
京城本町二丁目 釘本樂器店

家庭必須の常備藥
朝鮮總督府法定消毒劑 アイセ
最も恐るべき肺結核、流行性感冒、チブス、コレラ其他種々なる傳染病の豫防に欠くべからざる本品は消毒力強大にして無比の防臭藥となり一般の皮膚病及切傷蟲刺火傷等にも特効あり然かも無害無毒にして廉價なるが故に家庭に必須の常備藥なり
○本品は各地著名の藥店にて販賣す
○詳細說明書は御申越次第進呈す
宜壽堂 井上藥品部



運動家の好侶伴
全世界に名高き完全の糖菓
口中の渇を治め身體の力を維持し有効にして且つ人々の嗜好に適す
見本品代價
拾包入 金壹圓
五包入 金五十錢
壹包 金拾錢
說明書無代進呈
郵券又は現金にて
朝鮮京城取扱店
エフ、エス、木村商會

[illegible]題に關する對策は会々[illegible]の全然無根の捏造なるを[illegible]時に山東問題に關しては共に[illegible]損し聯盟條約の當然なるを[illegible]なるに係はらず大いに之が[illegible]なるウイルソン大統領に對す[illegible]

[illegible]三等乘客[illegible]卅日午後入港對馬丸一二等乘客[illegible]

觀衆固唾を呑む

慶大對滿鐵野球戰

慶大悠揚迫らず、滿鐵作戰慘澹

[illegible]日全釜山軍を一蹴し去りたる慶大軍は昨卅一日午後四時半より更に龍山鐵道公園グラウンドに於て滿鐵軍と對戰せり。試合時刻迫るや熱暑に怯けずグラウンドの周圍は早人垣を築き、兩軍戰士入場して練習を開始す頃には觀衆既に二萬を超ゆ場内の氣分刻々に緊張の度を加へ殊に滿鐵軍に於ては瀋陽の新鋭駒井を迎へて捕手に擬し林田自らプレートに立つて全軍の士氣を鼓舞し假令一點たりとも敵の堅壘を衝いて興味あるスコーアを作らんものと戰士の眉宇に苦心存するを認めたり、慶大軍は前日のメンバーと異動なく例に依つて餘裕綽々たる練習振を見せて愈々試合に移り、美濃部鮮銀總裁の始球ありたる後慶大軍先攻にて興味ある慶龍兩軍の大試合は開始されたり。

滿鐵美事一蹴さる

十六對二の大差にて 堅壘に二點を入れしは上出來

然るに慶大軍の猛打安打に反して滿鐵軍の陣容混亂し第一回一擧七點を慶軍の爲めに先取され旌幟甚だ振はず試合の興味殺ぐこと勘からず、第二回に於て慶大軍更に一點を加へたるも

滿鐵軍無爲 試合は[illegible]人も滿鐵軍の慘敗を豫想せしが第三回に至りて慶大軍更に二點を加へしに拘らず滿鐵軍[illegible]起一番して二點を容れたれば觀衆の狂熱其極に達し試合の前途に意外の興味を喚び滿鐵軍の意色に引換へ慶大軍聊か面喰ひたる氣味あり一層守備を堅實にして第九回まで彼に本壘を踏ましめず攻撃に於ては第四回に二點、五回に一點、九回に於て四點を加へ結局十六對二の大差を以て慶大軍の

大勝に歸し たるが滿鐵軍が兎も角も鐵壁の敵壘を衝いて二點を容れしは大出來と云はざるべからず。

寫眞說明

右より(一)始球式(美濃部鮮銀總裁)(二)外野より見る會場全景(三)スコアー(四)慶軍新田本壘に辷り込む(左端は明石審判)

試合經過

前記の通り美濃部鮮銀總裁の始球式は型の如く終り慶大軍先攻で試合の序幕は開かれた兩軍の陣容左の如し

慶大軍	高須 5	桐原 6	新田 8	永岡 3	鈴木 2	高濱 7	濱野 9	小野 1	竹中 4	山岡
滿鐵軍	網干 6	松島 4	林田 1	猪俣 7	門田見 3	駒井 2	櫛部 5	鍋島 8	青木 9	

明石正審、久保田壘審

第一回 慶大軍七滿鐵軍零

午後四時五十分慶大軍第一打者高須先づ死球で進み一壘の逸球で二壘を得桐原四球を利して出新田三壘バントで死し永岡死球鈴木の遊撃ゴロに高須先づ生還し高濱の投手ゴロを投手がミス、ミ桐原永岡相次いで生き濱野中堅へ直球、小野一壘越の安打に鈴木生還した竹中徒らに三振し機會は過ぎんとしたが捕手より一壘への惡球で高濱危くも本壘を突き高須三壘越の二壘打に濱野小野生還し一擧七點を得たが桐原飛球に死して終つた鐵軍網干三壘越の大飛球を打つたが捕られて死し松島の一壘ゴロは彈が狂つたので安打となつた林田二壘ゴロで進み走者二人となつた責任打者であつた猪俣三振し次いで門田見三振して無爲に終つた

第二回 慶大軍一、滿鐵軍零

慶軍新田飛球に死し永岡三壘ゴロ鈴木遊撃ゴロ高濱の三壘越安打で滿壘となつたが濱野の二壘へ犠牲打で永岡生還したので小野三振し走者二殘壘の儘終る、鐵軍代るや駒井投手グラウンダーで進み機會を待つたが櫛部三振鍋島青木共に飛球に死し全く無爲

第三回 慶大軍二、鐵軍二

慶軍竹中飛球に死し高須三壘ゴロで進み捕手の失で二壘に入つたが桐原の中堅越安打で高須生還し一點を得た新田遊撃ゴロで死し永岡四球で進み鈴木の遊撃越への直球は見事に極まり桐原勇躍本壘に生きたが高濱風打ちで死して終る鐵軍網干中堅へ大飛球をやつて出て盜壘三壘を陷れ松島のヒツト、エンド、ランで網干生還し林田の痛快な左翼飛球も松島も本壘に入り二點を得たので滿鐵方の應援團は一層狂熱し拍手に喝采に喚めき出した猪俣三振し門田見二壘ゴロで出たが林田二壘に刺殺され駒井飛球に死して機會は徒に過ぎた

第四回 慶軍二滿鐵軍零

濱野中堅二壘打したが小野三振し竹中投手へバントして進んだが濱野三壘間に刺殺されんとして辛くも二壘に戻り高須左翼飛球に出て二壘の失で滿壘となつた、桐原の野[illegible]を踊下したが惜しや三振し新田の遊撃ゴロを一壘が逸して濱野竹中續いて生還し永岡飛球に死して終る鐵軍櫛部は凡打鍋島は死球で進みたるが二壘で刺され青木三振して遂に無爲に終る

第五回 兩軍無爲、慶軍鈴木飛球に死し高濱四球、濱野は投手ゴロに死し小岡バントに死し終るこれより慶軍は陣容を改め新田の稲球を投手としてプレートに立ち小野に代つて補缺山岡を入れた、鐵軍網干三振松島林田凡打凡死し兩軍無爲なり

第六回 兩軍無爲、慶軍竹中、高須三振し桐原四球で進みたるも新田二壘へ飛球を打つて死せり鐵軍猪俣凡打、門田見四球で進んだが駒井中堅飛球で死し櫛部三壘越の安打をやつて盜壘して行つたが三壘で刺殺され終る

第七回 兩軍無爲、慶軍永岡三振、鈴木高濱凡打凡死し鐵軍鍋島三振青木三壘越安打で出たが網干三振し次いで青木も二壘で刺殺されて終る

第八回 兩軍無爲、慶大軍濱野三壘へ打つて進み山岡ファウルを投手に得られ死し竹中二壘ゴロで死んだが濱野二壘で刺殺され高須三振したので終つた鐵軍松島四球で進み林田二壘ゴロを打つたが二壘手の好捕で松島林田共に屠られ猪俣三振して終る

第九回 慶大軍四滿鐵軍零

慶軍桐原四球で進み新田投手ゴロ投手の失で一壘を得永岡の遊撃ゴロで愈々滿壘となつた時に夕陽西に傾き暮靄將に迫らんとす慶軍は茲に掉尾の勇を鼓して戰つた鈴木遊撃を突いて桐原生還し高濱遊撃へ犠牲打をやつて新田生還し濱野三振したが林田投手の隙を見た永岡は最うスタートを切つて本壘へ辷り込んだ、立ち上る砂煙の濛々たる中に投手暴球、捕手が逸したので鈴木再び冒險的に本壘を突きて生還し、山岡三振して終る、鐵軍門田見三振、駒井二壘ゴロ安打して出た櫛部の二壘ゴロで駒井二壘に刺され鍋島三振して終つた、期待された我滿鐵も勁敵慶大軍には敵すべくもあらず十六對二と云ふスコーアで滿鐵軍の大敗に歸したのは殘念ではあるが堅壘に二點を容れたのは先づ大出來といはねばならぬ

慶大軍の動靜

滯城延期

一日午後四時より全京城軍を迎へて決戰を試むる筈の慶大軍は野球團の希望により京城滯留の日を延ばしてコーチをせらるゝ由なれば希望者は至急本社宛申込まれたし尚一日夕は京城の野球選手關係者と慶大軍と合同して茶話會催さるゝ筈次に慶大軍一行の日程は本社野球部のコーチをなす以外は京城市内を見物し夜京城三田會有志の歡迎會に臨み同夜北上の豫定なりと

工廠職工の連判状

反對者の袋叩

東京砲兵工廠職工の一部は現在以上更に三割の手當を支給され度き旨を記し連判状を作り之に從はざりし一人を袋叩きと爲したる事工場長の知る所となり來月より相當の處置を爲す旨の言質を取り連判状の提出を見合せたるが他の職工も之を聞き騷[illegible]なり(東京特電)

又復列車を射撃

黒龍軍の所爲と判明 吉林兵來ると聞いて此始末 機關手、怖れて逃出す

廿九日朝長春發東清線列車が同夜哈爾賓到着の際同列車に對し盛んに銃彈を浴びせかけ負傷者を出せるは既電の如くなるが右は卅日午後零時半黒龍軍參謀及び吉林代表者等を乘せ長春驛を發車せる列車がインデタント(待避線)に著せる際此報を聞きたる機關手は怖れをなしてか同驛より先に進行するを肯んぜず其儘下車せしより已む無く哈爾賓より他の機關手を馬車にて連れ來り卅日午前二時過ぎインデタントを發車せしに又復列車を射撃したる者あり若干の負傷者を出したるが列車を射撃せしは黒龍兵にして彼等は當日長春より吉林兵が哈爾賓に來ると云ふ風說を耳にしたる爲め長春より來着する列車毎に射撃したるものなりと(長春特電)

電報係續々倒る

激務の上に暑熱が徹へて 電報遲延の一理由は是れ

少しは同情して呉れと服部局長語る

京城郵便局取扱の電報が近來頻りに遲延すると云ふ事に就て同局服部局長は語る『電報は官報私報共に益殖ゆる一方で昨年一日平均一萬四千通が今日では**一萬八千通**にも上つて居る其上一時的の現象ではあるが近頃の株熱昂進に伴ひ鮮銀事件に關する電報さか突發事件に關する電報が割込んで來るので係員は非常な努力を發揮して居る上に昨今の暑氣でバタ〳〵と病人が出來現在では**廿名も缺勤**して居るので他の係員を臨時に電報の方に廻して補充して居ると云ふ始末だから自然電報取扱の上にも影響が來る譯であるそれに過般內地洪水以來兎角線に故障が有り勝ちで各地に停滯して居た電報が一時に殺到するので手が當てられない尚ほ近來は一般に

打電の時間 が正午過ぎから非常に多くなつて午後の七時から午前の二時にかけて最も多いので係員の疲勞が一層甚だしいが其處へ配達人迄が暑氣に當られて何れも半病人と來て居るから配達に於ても幾等か遲延して居る事は誠に申譯が無い』

トライト大佐

游泳中死す

英國支那駐屯軍司令官ライト大佐は二十七日朝山海關にて游泳中心臟痲痺を起して死亡したるが葬儀に際し鎌田中佐は我駐屯軍司令部を代表し弔辭を述べ歩兵一個中隊の儀仗兵を附したるに對し英軍側にては太く感謝し居れりと(東京特電)

虎列拉彙報

奉天の新患者

奉天新市街に廿九日來疑はしき支那人の死亡二三十名ある旨警務總監部に入電あり總監部に於ては直ちに此旨平安北道警務部長に國境の警戒を嚴にすべく電命せり

別報 奉天地方に約廿名のコレラ患者の發生せりとの報あり新義州警察署にては國境防疫の計畫を立て嚴重なる防疫を開始すべく目下其準備に多忙を極めつゝあり(安東特電)

其後の上海

三十日日本人のコレラ患者二發生す目下尚居留地改廳のコレラ否認說に耳を傾くるもの多く此爲め却て流行を増す傾向あり又開業醫師中には屆出を爲さず自宅治療を爲す者尠からずして改廳の避病院に入院せしむるは特別の都合に限られある觀あり一般防疫上に見るべき施設なく日本人居留民團は三十日漸く防疫策に付協議を爲せり三十一日上海發電に依ればコレラの疑ひある日本人死亡者二あり患者累計三十七內死亡二十六に達す

關東廳の返電

警務總監部の照電に對し三十一日關東廳より左記の如く返電し來れり細菌檢疫の結果を見る迄停船し居れり當日奉天に於ける患者は支那管內なるが故に糞便檢查は大部分施行せず營口に於ける我が附屬地內の患者二名は細菌檢查の結果は正なり奉天鮮人患者の結果は今に判明せず

陰性と決定

山口縣下にコレラ疑似一名ありたるも陰性と決定系統なき旨其筋に情報ありたり

撫順に發生

三十日に撫順炭坑苦力一名並に同上傭人家族上田たか(三七)は何れも擬似虎列拉に罹り直ちに隔離されたり附近地帶に大消毒を施したるが撫順驛にては列車乘降客の檢疫を行ひつゝあり該病系統に就ては目下研究中(撫順電報)

全鮮の傳染病

一月以來の累計 一千四百名

全道に於ける傳染病患者發生及び死亡狀況に關し警務總監部衛生課に就きて聞くに六月中に於ける患者發生總數は千四百三十九名にして內三百三十一名の死亡を出せり之を內鮮人別に見る時は發生內地人三百六十四名朝鮮人千七十五名死亡內地人六十四名朝鮮人三百六十七名なり而して本年一月以降同月迄の累計に依れば發生數五千六百十七名に達し內死亡者千百六十六名を出せり之を內鮮人別に見る時は發生內地人千三百六十一名朝鮮人四千二百五十六名死亡內地人二百四十九名朝鮮人九百十七名なり尚是等傳染病は赤痢、腸チブス、パラチブス、痘瘡、發疹チブス、猩紅熱、ヂフテリア等なりと

筏流下少し

鴨綠江減水の爲め近來鴨綠江減水の爲め自然筏の流下少し(安東特電)

土用十郎の天候

京城地方は好晴なる土用十郎(卅日)の天候に關し岡田博士の談左の如し(東京特電)

呂宋、琉球東方の海上に現はれたる颶風の中心は卅日沖繩方面東方海上約七十里の海上にあり目下北西に向け進行しつゝあるが中心の示度は七百二十八粍にして廿九日に比し十二粍低し而して高氣壓は東部海上七百六十粍を示し九州南部及び中國北部は概ね曇天なるが京阪地方は好晴にして京阪以東は曇天なり又東京及び常盤地方は廿九日夜降雨ありたり

咬傷頻々たり

畜犬家の注意を望む 可成繫留か口輪せよ

近時龍山方面には咬傷の被害頻々として起り危險言ふばかりなく現に二十七日午前八時には漢江通り八番地岡本重吉長男四郎(二)が同番地相川留市方の飼犬に咬まれ二十八日午前零時には南大門郵便局在勤の水上安次郎(二)が岡崎町五番地高田愛吉の畜犬に、同日午後二時には青葉町三ノ三七二市船喜(九)が附近の路上にて野犬に咬まれ又ぞろ同夕六時には漢江通り十一番地十五伊藤俊郎方の飼犬に同所澤入ツヤ長男龍起(三)が咬傷を負はせられ卅日午前九時半には元町一ノ三二中野卯之助方飼犬に元町一ノ一三前田一夫(十二)が咬まれ又同日午後四時には榮町右稲富定方の畜犬に同町一森禮次郎五女ユキエ(九)六女文子(七)が咬傷を受くる等僅三四日間の七件の同一被害を出だすが如きは奈何にも慘害の甚だしきを知る可し之に就き憲兵分隊の係官は語る『咬傷と云ひて直ちに畜犬全部が狂犬といふ譯にては無く過日も統計を以て示せるが如く咬傷の狂犬は三四十頭中に漸く一二頭位を發見するに過ぎず然し狂犬なら手當をせざれば何時奈何なる徴候を現すやも知れず危險なり近頃咬傷の多きは交尾期に遭遇せる爲めにて交尾期には牝牡共淫期より嫉妬期に性質兇暴となり嫉妬期には牝犬は亢奮の結果神經に幾分の異狀を呈するが如く恰も人間がヒステリーに罹れるやうな狀態となり忽ち人に咬附く恐れあり其後は又分娩期授乳期等にて犬は氣の暴らくなるものなれば畜犬家は充分各自の畜犬に注意を拂ひ可成繫留し置くか若くは口具を用ひて被害を與へざらんやう心懸けられたきものなり夫れと同時に各人も注意して犬に無闇と戲れたり惡戲めなどはせぬやうす可し咬傷の多くは咬まるゝ方の不注意に原因するが多き樣なり唯一概に犬のみ責むる勿れ』云々

鮮人溺死す

府內鍾路三丁目六十三番地京城織物同業組合檢查員李炳秀(二五)は三十日午後二時頃漢江鐵道橋下流に於て友人二名と游泳中誤つて深みに陷り行方不明となりしかば曳網を以て搜索せしに同夜九時に至り漸く屍體を發見したるにより檢死の上家族に引渡さる

○**牡牛二頭轢き殺さる** 京義線端興驛附近に於て三十日午後牡牛二頭列車の疾進に吃驚したるものと見え途迷ひして線路に飛込み轢死したるが斯樣なる出來事は農繁期に入り屢々續出する事件にて珍らしからざれど同牛の損失は固より鐵道當局にても非常に迷惑の事なれば沿線耕作者は注意すべし

○**轢死と轢傷** 三十日京義線瑞興驛附近に於て鮮人線路工夫文任彥なるもの頸部を轢斷され即死又京釜線大邱新洞驛間に於て巡回中の工夫機關車に觸れ轢傷を受けたり

各地最高溫度

卅一日午後二時測定

▲鳥致院 九十一度、風無し曇
▲木浦 九十一度八分、晴れ
▲群山 九十八度六分
▲清津 七十七度六分、驟雨
▲大田 九十二度、南風
▲平壤 九十度、晴れ
▲鎭南浦 九十二度二分、晴れ
▲春川 九十六度八分
▲釜山 八十五度六分、蒸し暑く曇り勝、夕景より無風
▲元山 九十六度八分、昨夏八十六度、四分降雨無く農作に影響あり
▲安東縣 九十二度五分、晴
▲大連 九十一度
▲公州 九十二度
▲清州 九十七度五分、微風
▲馬山 八十九度、曇天
▲大邱 八十三度三分、曇天微風

三七・六九　三七・九〇
▼同上後場休擧

○**素謠會番組變更** 一日午後七時より京城俱樂部に開催の田口素擢師歡迎素謠會の番組は盛久を蟬丸に變更せる由又同氏と兄弟弟子の關係にある山中旅堀師は藤戸のシテ江口のワキ丼に蟬丸のツレを勤むる由にて同會の爲め錦上花を添ふる者と言ふべしさ

運動界

高商軍勝つ

東京高商庭球團對滿鐵庭球團の試合は廿七日午前九時より北公園コートに於いて行はれ各偶選二組を出し決戰の結果高商軍の勝となれり(大連)

高商		滿鐵
○小野、延	三…一	×狹間、白土
×小野、延	二…三	○杉本、小林
高橋、竹澤	二…三	◎杉本、小林
○岩崎、佐藤	三…二	×岩崎、森
◎岩崎、佐藤	三…○	×藤丸、岡
×杉根、扇山	二…三	○安富、勸修寺
×北川、淺野	一…三	◎安富、勸修寺
○母袋、松本	三…一	×田村、立川
×母袋、松本	一…三	○笠原、由比
○久保、長谷川	三…○	×笠原、由比
◎久保、長谷川	三…○	×杉本、小林
×岩崎、佐藤	二…三	○安富、勸修寺
○久保、長谷川	三…○	×安富、勸修寺

高商早稻田庭球部對京城庭球軍メンバー

二十八日協贊事務所に於て庭球部委員會を開き高商早稻田庭球部に對抗すべき全京城軍のメンバーを左の十組に決定し猛練習を行ふ事に申合せたりと

岡部、森　中川、內藤
矢野、大前　池原、井田
諸岡、立見　松木、永野
飯島、永山　栗原、大內
奧田、若泉　高平、牧野

引續き大連の大將組、伊達、石川兩君の來鮮を機とし歡迎大會を開催することに決定せるが方法は左の如し

一、三井對鐵道試合(鐵道コート)但し三井軍に伊達、石川君を加ふ
一、三井鐵道聯合軍對京城軍(三井コート)

右試合は五組づつとし高商對抗戰の終局したる後とす

避暑地投票

第十回發表

三百八十三票	水安堡	四十一票	扶餘
二百廿八票	元山	二十九票	溫陽
二百三票	儒城	二十九票	仁川
百八十九票	釋王寺	二十二票	內藏山
百五十票	馬山	二十票	統營
百四十三票	水原	十九票	俗離山
八十七票	海雲臺	十七票	裡里
七十七票	東萊	十三票	釜山
六十一票	黃海 正方山	十票	公州
五十三票	金剛山		

(十票以下)光州、木浦、冠嶽山、平壤、逍遙山、九味浦、夢金浦、密陽、松島、南原、清津、全州、慶北周王山、滄道、開城、犀天山、浪、平康、古群山

中間締切 八月三日決行す奮て投票を乞ふ

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
◎其他旅行用具一切
◎魔法瓶及中瓶取揃
京城本町通(電話四五五番)
高木旅行用具店

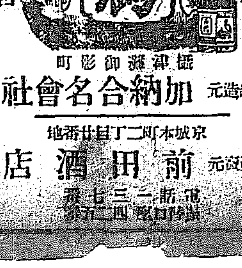
京城日報社纂編
最新書式大全
菊版クロース頭美本九百頁◆定價金參圓郵税二十七錢
本書は最新の朝鮮書式大全にして各所關係法規に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、產業、特許、意匠、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部一々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅して餘さず各階級を通じて必携缺く可からざる良書なり
發行所 京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三百番
取次販賣所 大阪屋 巖松堂 日韓書房

茲に驚倒的終結を告げんとする問題の怪寫眞は如何に解決する?
『鐵の爪』の姉妹篇世界的大冒險奇談
最終篇 七珠眞 第十三、十四、十五篇 全六卷
六ケ月に亘るイルマとハリー青年との惡戰苦鬪は六個の眞珠を奪還する事を得たが最後の一個に至りて遂に其搜索の追跡を失つた、嗚イルマの運命……ハーペー老人の命は?ハリーの戀……を支配する一個の眞珠は果して那邊に潛む?吁、神魔相鬪ふ最後の大活劇、見よ!!壯嚴なる運命の審判

日活會社本年度撮影 尾上松之助、中村扇太郎大合同劇
◎本能寺合戰 舊劇 信長と光秀 全六卷
明智日向守光秀は織田信長の命に依り丹州八上城波多野の兄弟を身命を賭して降參せしめたるも主命の爲めに無殘にも殺しめたるより一大波瀾を生じ遂に光秀は信長の橫暴を怨み『我が敵は本能寺にあり』と反逆の命を下し俄に本能寺を襲ひ信長を討取りたる豪勇無雙の雄大作品
當る八月一日より 上場本日晝夜開演
大正館

資本金參百萬圓
(明治三十八年設立)
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ懇切ニ取扱申候
株式會社 漢城銀行 京城南大門通一丁目十四番地
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鐘路、東萊
電話長 六〇五 振替口座京城 二一

大日本優等清酒
ハクツル
品質純良
衛生無害



釀造元 攝津灘御影町 加納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話 二三七・二四五

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目(本町より入る中央)
電話二一〇二番

みだれ咲き

第百四回　島山碧波作　森田久畵

便所に起つた花香は、其の頃東京新聞を手に次の間へ入ると、言葉忙しく女將を呼んで何か相談をして居た。其結果、彼女は急用が生じたと稱し、花香も連れて龍雄と東京へ歸らうと云ひ出した。

『さうして頂くのは甚だ結構ですが、それでは餘りに恐縮します』

お伊代が急に内地へ戻らうと云ひ出したには何か理由があらうであるが、龍雄は深くも知らぬ斯の婦人に重ね〴〵世話になるのが心苦しかつた。

『若樣、私も知らぬ先なら兎も角斯うして貴郎がお邸を後になさつた理由を知りましては、モウ花香さん一人を貴郎につけて内地へお歸し申すことが出來なくなつたのです、花香は内地へさへ申すもの、近い内には當家に貰ふ相談も進んで居るのでございます、左樣しますれば緣に繋がる私はお邸に御恩がありますが、其のお邸ではお孃樣もお邸を出てお行方が判らないのです』

『ねッ……』

驚くべき一語を耳にした龍雄は啞然として双眼を睜つた。

『此の新聞を御覽遊ばせ』

主婦お伊代が展げた京都タイムスの社會部面に眼を落した龍雄は記事の一項を默讀して。

『あゝ大變なことになつてしまつた、姉さんが斯んな眞似をなさつたのも皆僕の輕擧からです』

龍雄は遂に聲を上げて泣き出した。氣丈のやうでも多寡が十五か十六の少年である、姉の操子が自動車の運轉手牧野と共に姿を隱したと云ふ記事を讀むと自分が家出後の姉の身に想到して泣き出してしまつた。

『若樣、御心配でせうが多分此の邊に居らつしやるでせうから餘りお心を痛めない方が宜しうございます』

お花の花香は、斯う云つて龍雄の悲歎に暮れるのを慰めた。

『お花、僕はこうして宜いのか少しも判らない』

涙の面を上げた龍雄は、尚ほ言葉を重ね。

『お内儀さん、僕は東京へ歸つたら一先づ實母の實家へ行つて樣子を探ります』

『さうで御座いますわね、二階堂の御前樣にお逢ひなさるのがお宜しう御座います』

主婦のお伊代と花香は、兎もすれば沈み勝ちになる龍雄の心を引立てて其の日を送つてしまつた、さうして翌日の午前十一時半に南大門驛の列車で、一行三人は内地に向つた。

『若樣、成べく急いで參りませうね』

女ながらもイザと云ふ場合には水火の中も辭せぬお伊代は薄命の姉弟に大なる同情を寄せ、途中も急いで東京へ向つた。

『お邸じゃ大騷ぎでございませうね』

『確に騷いで居るが、僕は姉さんと牧野が家出をしたにしても新聞に書いてあつたやうなことは無いだらうと信じて居るが、お前はどう思ふね』

『私もあんなことは無論無いと信じて居りますわ』

花香には多少の不安があつたけれども夫は龍雄の意中を察して一言も口にしなかつた、さうして京城を出發して三日目の午後八時過ぎには東京の土を踏んだ。

『いろ〳〵御世話になりました俺は今日では勝家ではありませんが山中子爵に代つて厚くお禮を申します』

夜の京輪に二階堂老伯を訪れた、お伊代が悲しい話をして來意を告げると、自分の前に頭を垂れた龍雄を眺めてホロ〳〵と落涙した老伯は。

『然し妙ですなア、山中子爵は未だ東京へ戻らんし、子爵の兄の出宮さんも東京には居らんやうですぞ』と、云つて老伯は双腕を拱んだ、其處へ執事の飛鳥井老人が入つて來た。

鍼灸　本町三丁目　藤井百太郎　鍼灸院　濟生堂

鳥類の羽毛を利用せよ（九）

黄海道畜産技手　吉田雄次郎

一箇年に屠さるゝものは總數の四分の三位であるもの之れを四百萬羽位と見做せば内外毎年屠殺さるゝものは合計千四百萬羽となる譯であるが然し此の全部の羽毛を利用することは甚だ困難な事であるから今假に其の半數だけを利用せらるゝものとせば一羽の羽毛量が約二十匁と見積りて約十四萬貫の

假りに十匁に付十錢と見積る時は百四十萬圓に達する譯である之れに朝鮮の如き豊富なる野生鳥の羽毛を加ふる時は隨分莫大なる價格に達する事となる譯である、目下我國では國産の奬勵上羊毛の販賣方に付いては

陸軍省所管の製絨所に於て保護を與へて居る如く鳥類の羽毛も之れと等しく當局の指導に依り自家用以外の生産物は販賣の道を斡旋し共同販賣の道を講ずるか又特種の加工場は個人にて設置せず共同にて設備を講ずるか其他内地の大會社朝鮮なれば東拓なり東畜なりに於て一般の生産者から

買上の方法を講ぜしめるとか又は大々的單獨の新事業として計畫を立てるも面白いであらうと思ふが兎に角鳥類羽毛の利用法は農家の副業的事業を基本として獎勵すべきもので吾人は本業發達の爲め當局者並に同學の士の一考を切望して止まざる次第である

日報俳壇

○夏の海かそけく

河東　郁夜（京城）

夏の海かそけく甍を魚飛べる
涼しさや波の紆りを辷る船
燈臺白く炎天の海の崎てる
滿潮の涼さよ雲の峯
大海をせましと湧くや雲の峯
雨傘にかも似し松や夏の月
甘酒屋ある橋の彼方に海搖れて
薫風や青き甍場に白き家

小川　鐵雄（京城）

夏霧の峯離れゆく旦かな
六月のポプラに映ゆる夕日かな
藍干せる街道筋や雲の峯
短夜をこめて小蜘蛛の營める
岸の草を浸す出水や飛ぶ螢

吉澤　帝史（京城）

樹下闇に白き花ある清水かな
青葉陰温泉のほせを女吹く居
夕顔を中に峙つポプラかな
夕顔や暫くありて星光る

峰　村（京城）

若竹の皮散る籔の日和かな
泳ぎ子の膝を並べて茂りかな
朝塗る庭木の蜘蛛を拂ひけり
睦や蓮の葉毎に風渡る
立札と見ゆほのめく茂りかな

長瀬　飛骨（京城）

紫陽や垣の中なる七面鳥
旋風器ありて涼しき事務所かな
露の晴れゆく島紫や夏の海
蹴しき門のうちなる炎かな

孤　舟（龍山）

行軍の兵を稿ふ麥湯かな
炎天や山の麓なる五戸の村
夜たゞ營む佗し灯影や火取蟲

考　古（京城）

雷遠く去りししゞまや蟬の聲
過雨過ぎて夕日や茄子の花
連翹の垣摘む香や風涼し

三根　五葉（第二回）

濁り江に釣りせる舟や蘆の花
噴水の渦卷く庭樹皆涼し

京城大和町壹丁目　新見本各種取揃　みのや京染店　長電一四六二番　振京六三三八番

新刊紹介

▼家庭年中行事（近藤正一著）我國の創建年久しくして年中の諸行事その數頗ぶる多く其古雅なるもの優美なるもの剛健なるもの等之を百代の後に傳へて國の誇りとするに足るもの少からざりしも維新の百事更新に際して全く之を顧みざりしは識者の遺憾とせる處なるに近時又復興の傾向あり、本書は此目的の爲めに公刊せられたるものにして國家の公事、式典等に連關せる家庭的行事の由來、慣習等を詳述せるもの一般家庭の重寶となるべし（四六版四百四十頁、一圓二十錢東京市日本橋區本町博文館）

▼少年倶樂部（八月號）少年新詩蛙（柳澤健）少年小品樹下の盃（白石實三）傳奇物語、夢見る人、ヨセフ（生方敏郎）あれた見よ（半井桃水）熱血小説空中の一騎打（宮崎一雨）壯絶無比刑島の俠勇少年等（廿三錢、東京本郷區駒込阪下町大日本雄辯會）

▼圍碁虎の卷（七月號）新撰詰碁正解（本因坊秀哉）飛泉名玉・雁金六段の研究（鈴木五段）の外石立、實戰解剖、定石活用等あり、少年碁及び鈴永兩雄二十番戰（本因坊秀哉評）亦共に珍とすべく斯道の好指針たり（二十五錢東京市麻布區富士見町四三富之日本社）

▼グリム物語　世界童話集の第二編として獨逸の有名なるお伽噺作家グリム兄弟の、作品を蒐集せるもの王女の舞踏、雪子姫物語、狼と七頭の小羊、矮人のお土産、鷲鳥の祈り、ヨリンデとヨリンゲル、三つの難題、赤頭巾、蛙の王子、漁夫の願ひ、拇指太郎、ブレメン市の音樂師、鼠と腸詰、正直靴屋の下婢、易兒、忠義なヨハンネス等計三十三編を美しき譯筆以て叙述し、小讀者をお伽王國に遊歷せしむ裝釘頗る美家庭の備本として適なり（菊版四百二十頁）

一圓五十錢東京市日本橋區本町博文館

▼花形（八月號）氣の利いた演藝雜誌、卷頭に各劇場の舞臺面を美しき寫眞版として掲載し本文は鬼神のお松、雁治郎と若助、提灯持の女、中村おもちやの細君評判、ごん底優の艷書、青島映畫の花形、文龍の傾智、油地獄、十六夜清心等（廿錢東京市芝區公園九號地玄文社）

▼大正川柳（七月號）本紙柳壇の選者井上劍花坊氏の主宰する川柳雜誌にして劍花坊氏の論文を始め同人句、募集句、各地柳況等を掲載す（十八錢東京市芝區二本榎西町二積寺川柳會）

▼社會及國體研究號（第四號）國體論（遠藤隆吉）比較的政體論（美濃部達吉）勞働問題（堀江歸一）中等階級運動（米田庄太郎）歐洲思想大觀（金子馬治）普通選擧論（大場茂馬）等（會費五十錢東京市外西巣鴨町宮仲二六五三社會學研究所）

▼婦人家庭雜誌（八月號）住宅の飢饉、現代婦人の不平思安法、さんの七種類、戀に泣き戀に死んだ處女物語、故鄕へ沈む日、晩の鐘等（二十五錢東京市手込區築地町一三婦人家庭雜誌社）

▼帝國青年（七月號）改造經營の三大要領、同國異中心主義、漢詩經味評釋、馬鈴薯の食べ方、青年と飲酒喫煙等（十五錢東京市麴町區永田町一ノ一九帝國青年發行所）

▼寫眞タイムス（七月號）内外時事問題を始め百般の事象を鮮明なる寫眞版として掲載せり（廿五錢東京市京橋區新肴町一八明治製版所）

▼幼年界（八月號）美しき幼年雜誌、繪畫を主として興味多き記事を掲ぐ（十五錢東京市京橋區本八丁堀二の一正光社）

讀者の領分

大聖日蓮が稱導の法華經の豫讖に應じ給へる上行菩薩で無かつたとするなら誰が其人であるのか抑又法華經を虚誕だと云ふのか吾人は釋尊九信ずる法華經を信ずる其必然、結果として大聖日蓮は五濁末世の吾人々類に取りて釋尊と齊しく主師親の三德を具へ給へる唯一人の救世主だと信ずるのであるさるにても世には畏ろしき明哲の人もあるものかな大聖日蓮が六十年命懸けで唱へられた大法門に付此小冊位で徹底的若解を求め得て之を批判しようと仰せらるゝには驚き入つた遮莫れ依法不依人は釋尊の誠である吾人は同志と共に愈で法華經及聖訓を通して釋尊及び大聖人の恩澤に浴し無上法悅に住せんかな（一信者）▲九尺二間の陋屋、三伏の苦熱を避けんと涼を本町に追へば出るわ出るわ都人士の雜沓、吾等田舍者にはお祭騒ぎより外思へぬがこゝが亦都會趣味の面白いところだらう、併し水も滴る若夫婦が互に手を引き遇ふての見せ附け歩きは一寸風俗壞亂の問題だ殊に散歩位に『デコデコ』髷を一尺位高く前に積み上げて蟬の羽根の樣な羅物羽織をお召しさまある、物價騰貴を煽るもの其の一人だ（下駄屋の亭主）▲記者樣へ御寄稿致します私はある社の火災保險に加入して居りますが保險のさきは其の地の代理店の紹介契約書のみにてよろしきや亦は本店の契約書なき場合は無効のものなるや御教示を願ます（不明生）▲堤坡子へ御寄稿の『夕方の散歩』は折角ながら其内機會を見て載せる事に致しませう（係）▲此の頃夕餐後の散歩に市内黄金町附近に行くと朝鮮人が人道上に莚を敷いて寢て居るのは通行者の妨害となる注意せよ又永樂町から黄金町に出た處の角の人力車夫は毎夜人道上に居並んで一般往來者の妨害を爲す取締を望む（市民生）

◉人に好かるゝ　隱し藝
▼世渡りの祕訣
▼は之れ一つ!!

社交に必要なくてならぬは隱し藝で隱し藝のある人は座敷にはもて夫人令孃からは愛せられ目上の人からは引き立てられる目下東京の紳士社會花柳界に大流行の一中節、都々逸、端唄、清元、新内、義太夫、琵琶、浪花節、長唄其他一切の隱し藝中の粹の粹通の通なるもの無慮數千を集めて苟くも紳士粹人諸君が社交に缺くべからざる座右の寶典は『隱し藝大全』にて本書一册あれば如何なる宴會に於ても決して恥をかくことがなく何時も人を驚かし人を樂ませることが出來る。紳士粹人諸君は是非賣切れぬ中に至急お求めあれ。此際の希望者に限り時價送料共九十一錢に割引す。希望者はハガキで注文次第代金引換貨物で送る。東京市麴町區九段下　振替東京四〇四二五　三光社

婦人病者は靈藥不老藥湯を召せ　一廻分金壹圓送料四錢　京城北米倉町一五七　不老藥湯本舖　振替京城六九六五番

京日案内
普通一回前金七十錢　番外一回前金壹圓二十錢
▲申込後中途掲載中止は料金不返戻　▲六回以上の申込は特に割引の事　▲照會は返信附に非ざれば回答せず

▲電話賣買並ニ金融　▲不動產賣買紹介及管理受託　旭町一　信託業　小林　電話一八九六

▲支店長弐名　▲内勤九名　▲外勤五名　▲俸給百圓乃至別に配當　市内に保證有者履歷書携帶來談　龍山漢江通十一番地　電話八一〇番　森島洋行

高級外務員招聘○日鮮に通じ城又は地方上流鮮人に交際ある紳士にして希望者は履歷書持參　京城黄金町二丁目　太平生命保險會社

有給外交員數名募集　齡卅歲以下の者面會午後四時より六時迄　◎京城日報社内　東京最一堂擴張事務所

電話番號變更　二參參五　京城本町三丁目三九　下村泰造

▲花アラレ　煎餅職雇入度し　滿州公主嶺　花園町　榊田商店

▲自動車　乘合用五人乘六輛入荷　自動車類輪入商　京城永樂町二（電壹四七）　榮洋行

◉南米　旅民希望者は來れ　旅費後援の規定　鹿兒島縣重富村　海外發展社

◉店員二名入用　京城旭町　中島印刷所　電話二〇八番

看護婦及見習數名入用　本人來談あれ　明治町二　中央婦人病院

產婆　京城南山町三丁目二七　小倉松野　電話一四七九番

胃病には　ホシ胃腸藥

主効　消化不良　食もたれ　溜飲吐瀉　飲過食過　胃腸カタル　惡醉宿醉　惡心胸痞
定價　廿錢　五十錢　一圓
東京　星製藥株式會社

處方明記
内容を公示し責任を明かにせる本邦唯一の ◎ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は内容を祕して徒に萬能を説くが如き賣藥に非ず現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也

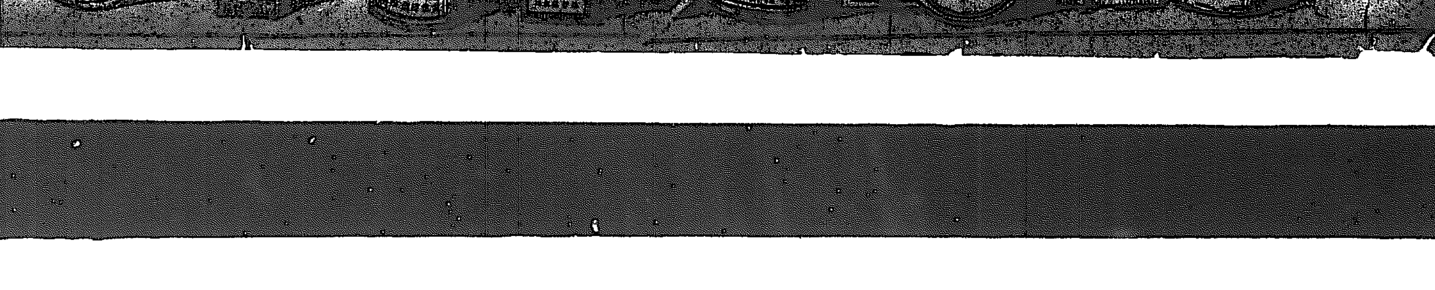
特長
一　處方を明記し内容を公示す
一　處方的確にして藥効顯著なり
一　製劑精確にして効力一定不變也
一　藥品純良にして中毒の危險無し
一　容器完全にして變質の虞無し
一　内用藥は錠劑にして服用し易し
一　價格低廉にして永く保存に耐ふ

家庭治療法　四六版本文二百三十頁
疾病の原因や症状を視て手當を施し得る方法を教へたもので醫師にかゝる迄の指針ともなる　定價金五拾錢　但し特價金參拾五錢

◎ミツワ健胃錠　食慾減退、食物停滯、消化不良、胸やけ、噯氣、胃部膨滿、胃部疼痛、惡心、嘔吐、胃加答兒、胃弱等。
◎ミツワ消化錠　消化不良、食慾缺乏、過食、胃腸障害、病後衰弱等總て消化を促すべき場合。
◎ミツワ制酸錠　酒の惡醉、酒の過飲、宿醉、食慾缺乏、食物停滯、惡心、嘔吐、吐瀉、胃酸過多、急性胃加答兒等。
◎ミツワ緩下錠　常習便秘、又胃腸病、腦病、神經病、心臟病、肺病等より來たる便秘其の他便祕一般。
◎ミツワ止瀉錠　過度の飲食、不良の飲食、寢冷等より起る下痢、急性傳染病以外の諸病より起る一般の下痢。
◎ミツワ解毒錠　過飲過食の場合、不良の飲食物を攝りたる場合、傳染病者に接したる場合、傳染病流行の場合等に胃腸を防腐殺菌し胃腸病を豫防す。
◎ミツワ驅蟲錠　蛔蟲、鉤蟲等腸内に於ける寄生蟲を驅除せんとする場合、是等寄生蟲の腸内に寄生し居る疑ある場合。
◎ミツワ清涼劑　口中の臭き場合、酒に醉ひたる場合、睡氣の場合、睡魔の襲ふ場合、倦怠疲勞の場合。
◎ミツワ解熱錠　感冒、急性關節レウマチス、慢性關節レウマチス、筋肉レウマチス、頭痛、耳痛、以上諸病に因る發熱及疼痛。
◎ミツワ鎭咳錠　喘息、百日咳、喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎等總て呼吸器病の爲め咳嗽の出る場合。
◎ミツワ祛痰錠　喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎、其他總て呼吸器病の爲め痰の出る場合。
◎ミツワ結核錠　肺結核、氣管枝加答兒、肋膜炎、腹膜炎、腸結核、腺病、百日咳、其他總て結核性の病症。

◎ミツワ人參錠　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、逆上、眩暈、腦貧血、腎炎、榮養不良、貧血、精力減退、老衰等。
◎ミツワ複方人參錠　心臟肥大、動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、脂肪心、神經衰弱、ヒステリー、頭痛、偏頭痛、逆上、眩暈、腦貧血、腎臟炎、貧血、精力減退、老衰等。
◎ミツワ鎭靜錠　頭痛、頭内朦朧、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經性心悸亢進、神經衰弱、ヒステリー、癲癇等。
◎ミツワ婦人湯藥　血の道、頭重、頭痛、逆上、眩暈、月經不順、腰痛、下腹痛、白帶下、子宮内膜炎、子宮外膜炎、喇叭管炎、卵巢炎等。
◎ミツワ治淋藥　急性淋疾、慢性淋疾、尿道口より排膿、放尿時疼痛、尿意頻數、膀胱炎、腎盂炎等。
◎ミツワ點眼液　眼瞼腫脹、結膜發赤、結膜腫脹、結膜充血、淚液分泌亢進、羞明、眼瘙痒、眼灼熱、眼疼痛、眼内異物感、急性結膜炎、トラホーム等。
◎ミツワ鼻病液　鼻腔瘙痒、鼻腔乾燥、鼻汁過多、鼻閉塞、嗅覺減退、鼻粘膜腫脹、鼻加答兒、鼻出血、鼻充血、臭鼻症、慢性鼻炎、鼻茸等。
◎ミツワ含嗽錠　口腔粘膜腫脹、口内炎、口臭、咽頭疼痛、咽喉疼痛、咽頭加答兒、齒齦腫脹、齒齦炎、扁桃腺炎、熱性病等。
◎ミツワ齒痛液　齲齒より起る疼痛、過熱過冷、又は甘味等の飲食物に觸れて起る齒痛、其の他一般の齒痛。
◎ミツワ硼酸錠　逆上眼、流行眼、其他諸炎の如き眼疾、口中の疾、婦人生殖器疾、打撲傷、挫傷等。
◎ミツワ撒布藥　汗疹、手汗、足汗、多汗症、腋臭、表皮剝脫、皮膚糜爛、皮脂漏、痤瘡、蕁麻疹、濕疹。
◎ミツワ泥膏　表皮剝脫、擦過傷、火傷、凍傷、皮膚龜裂、皮膚糜爛、皮膚潰瘍、皮膚炎、痔、漆かぶれ、濕疹。

◎ミツワ痤瘡膏　痤瘡、皮脂漏、酒渣鼻、毛瘡、白癬、疥癬、粃糠疹等。
◎ミツワ制痒膏　皮膚搔痒症、汗疹、水蟲、濕疹、蕁麻疹、火傷、凍傷、皮膚龜裂、汗疱、疥癬、蟲類及魚類に刺されたる場合。
◎ミツワ頑癬膏　頑癬、陰囊癬、白癬、疥癬、濕疹、其他細菌等の寄生に因て起る皮膚病。
◎ミツワ凍瘡藥　凍傷、皮膚龜裂、皮膚皸裂、水蟲、其他搔痒を伴ふ皮膚病。
◎ミツワ螫蟲液　蜂、虻、蚋、蟻、蚊、蚤、虱、床蟲、毛蟲、蜈、蛇等總て蟲類に螫されたる場合。
◎ミツワ鎭痛液　打撲傷、捻挫、關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛等の疼痛のある場合。
◎ミツワ養毛液　脫毛、無毛、毛髮粗疎、雲脂過多、毛髮の發育を促さんとする場合毛髮の營養を良くせんとする場合。
◎ミツワ腋臭藥　腋臭、脅胺臭、手汗、足汗、其他汗の多き或は臭き病症。
◎ミツワ淋疾洗滌液　淋毒に因る尿道炎、尿道口より排膿、放尿時疼痛、尿意頻數。
◎ミツワ痔坐藥　痔核、痔瘻、肛門裂傷、脫肛、肛門内に瘙痒ある場合、肛門部に疼痛或は灼熱感ある場合。
◎ミツワ婦人坐藥　白帶下、膣加答兒、子宮内膜炎、子宮外膜炎、喇叭管炎、卵巢炎。



發賣元　◎　東京市日本橋區小網町四丁目　丸見屋商店